

特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて
環境学習交流センター
岩手県地球温暖化防止活動推進センター

活動報告書

令和3年4月 → 令和4年3月



i n d e x

● 特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて

01 自主事業	1 ページ
---------	-------

● 環境学習交流センター

02 情報誌てとて／いわて環境情報板	2 ページ
03 環境学習交流センター内での展示／特別企画展示	4 ページ
04 環境学習講座	10 ページ
05 アイーナ入居施設との団体協力	15 ページ
06 訪問学習の受け入れ	16 ページ
07 いわてこどもエコクラブ等ネットワークの構築	21 ページ
08 環境アドバイザーの派遣	22 ページ
09 エコカーゴによる出張環境学習会	32 ページ
10 流域活動支援	42 ページ

● 岩手県地球温暖化防止活動推進センター

11 いわてわんこ節電所	43 ページ
12 省エネ・節電キャンペーン	45 ページ
13 岩手県地球温暖化防止活動推進員の派遣	46 ページ

● 森のゼミナール

14 いわて森のゼミナール運営業務	65 ページ
-------------------	--------

●特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて

●環境パートナーシップいわて 自主事業

会員はもとより、一般市民が気軽に参加できる事業を展開しています。

01

	事業名	アイーナ夜学
	活動期間・日時	毎月第3金曜日19:00～21:00
	場所	いわて県民情報交流センター(アイーナ)環境学習交流センター等
	協力者	会員・市民・大学教授・学生等
内容	平成18年4月アイーナ開館当初より月1回開催。持続可能な地域社会を実現する新しい産業・都市・住居の階層モデルの提案を行う。2021年度もSDGs、ESD、ESGなどを中心に持続可能な社会をどう創るかの活発な議論が交わされた。	

	事業名	着物のリメイク支援プロジェクト
	活動期間・日時	2021年10月23日
	場所	盛岡市アイーナ 4階アイーナスタジオ
	協力者	久慈市、紫波町、雫石町の支援者の皆さん
内容	環境パートナーシップいわての小赤澤直子理事が、復興支援として全国からいただいた着物を使った着物リメイク講座を開催。10月23日アイーナ4F県民プラザで開催された着物リメイクファッションショー(9回目)では、完成した洋服を着て支援してくださった方々へのお礼の気持ちをこめたファッションショーが行われた。	

	事業名	いわてSDGsカフェ
	活動期間・日時	2021年4月～2022年3月(毎月第3水曜日18:00～20:00)令和3年度は11回開催。
	場所	環境学習交流センター
	主催者	SDGsカフェ実行委員会
内容	持続可能ないわてを目指し、SDGsに関心を持つ方々が集い、気軽に真面目な対話を楽しみながら学び合う場として、2019年7月より開催。参加者は延べ500名以上。様々な情報が集まっており、岩手県におけるSDGsプラットフォームの役割をになっている。また、参加者の方々の積極的な関わりや交流から、岩手県内外で様々な取組が生まれるきっかけとなっている。令和3年度は地域版SDGsカフェ(一戸町、矢巾町)、企業版SDGsカフェも開催された。	

●環境学習交流センター



環境学習交流センターでは、センターの情報や岩手県内のイベント情報を掲載している情報誌「てとて」を年3回発行しています。

No.47



R3年度 7月号

- ・根浜海岸再生事業の取り組みスタート！
- ・「いわて環境学習応援隊」企業の紹介！
- ・いわてを知ろう！！～小岩井農場重要文化財ギャラリー～
- ・「岩手県環境基本計画」「第2次岩手県地球温暖化対策実行計画」概要
- ・環境学習交流センターイベント情報

No.48



R3年度 12月号

- ・出張環境学習会
- ・「岩手環境学習応援隊」企業の紹介～刈谷建設株式会社～
- ・センター活動レポート
- ・環境アドバイザー・岩手県地球温暖化防止活動推進員のご紹介
- ・地球循環共生圏のつくり方をまなぶ④
- ・環境学習交流センターイベント情報

No.49



R3年度 3月号

- ・環境学習講座
- ・「いわて環境学習応援隊」企業の紹介～東北電力株式会社岩手支店～
- ・県内環境保全団体活動状況の紹介
- ・環境学習交流センターの新たなチャレンジ
- ・進化する訪問学習「SIMulation おおつち 2030」
- ・地球循環共生圏のつくり方をまなぶ⑤
- ・環境学習交流センターイベント情報

いわて環境情報板<<http://www.iwate-eco.jp/known/mailmag.html>>

岩手県や県内自治体の環境情報、関連イベント情報などを中心にホームページにてお知らせしています。環境という広範囲な話題を皆さんにとって身近に感じられるように、その時々タイムリーな情報と切り口でお届けします。毎月末更新。

4月号	1.「環境学習交流センター」からのお知らせ 2. 県内各市町村のごみ排出量(速報値) ～1月分～ 3. おすすめメールマガジン 4. 県内のイベント情報 5. 助成金情報
5月号	1.「環境学習交流センター」からのお知らせ 2. 県内各市町村のごみ排出量(速報値) ～2月分～ 3. おすすめメールマガジン 4. 県内のイベント情報 5. 助成金情報
6月号	1.「環境学習交流センター」からのお知らせ 2. ネイチャーゲームリーダー養成講座 3. 県内各市町村のごみ排出量(速報値) ～3月分～ 4. おすすめメールマガジン 5. 県内のイベント情報 6. 助成金情報
7月号	1.「環境学習交流センター」からのお知らせ 2. 県内各市町村のごみ排出量(速報値) ～4月分～ 3.「令和3年度3R促進ポスターコンクール」の作品募集のお知らせ 4. 環境保健研究センター新着情報 5. ネイチャーゲームリーダー養成講座 岩手県会場 ～あなたも「自然案内人」に～ 6. 水生生物調査に参加してみよう！ 7. おすすめメールマガジン 8. 県内のイベント情報 9. 助成金情報
8月号	1.「環境学習交流センター」からのお知らせ 2. 県内各市町村のごみ排出量(速報値) ～5月分～ 3. 環境保健研究センター新着情報 4. 県境産廃いわてだより第135号 5. おすすめメールマガジン 6. 県内のイベント情報 7. 助成金情報
9月号	1.「環境学習交流センター」からのお知らせ 2. 県内各市町村のごみ排出量(速報値) ～6月分～ 3. 環境保健研究センター新着情報 4. おすすめメールマガジン 5. 県内のイベント情報 6. 助成金情報
10月号	1.「環境学習交流センター」からのお知らせ 2. 県内各市町村のごみ排出量(速報値) ～7月分～ 3. 環境保健研究センター新着情報 4. 10月は『3R推進月間』です！ 5. 10月は『食品ロス削減月間』です！ 6. おすすめメールマガジン 7. 県内のイベント情報 8. 助成金情報
11月号	1.「環境学習交流センター」からのお知らせ 2. 県内各市町村のごみ排出量(速報値) ～8月分～ 3. 環境保健研究センター新着情報 4. 県境産廃いわてだより第136号 5. おすすめメールマガジン 6. 県内のイベント情報 7. 助成金情報
12月号	1.「環境学習交流センター」からのお知らせ 2. 県内各市町村のごみ排出量(速報値) ～9月分～ 3. 環境保健研究センター新着情報 4. 年末年始の『もったいない・いわて☆食べきりキャンペーン』を実施します！ 5. おすすめメールマガジン 6. 県内のイベント情報 7. 助成金情報
1月号	1.「環境学習交流センター」からのお知らせ 2. 県内各市町村のごみ排出量(速報値) ～10月分～ 3. 環境保健研究センター新着情報 4. 環境省主催・3R活動推進フォーラム及び本県の共催による 「3R推進地方セミナーin岩手～プラスチック資源循環法の施行に向けて～」 5. おすすめメールマガジン 6. 県内のイベント情報 7. 助成金情報
2月号	1.「環境学習交流センター」からのお知らせ 2. 県内各市町村のごみ排出量(速報値) ～11月分～ 3. 県境産廃いわてだより 第137号 4. 環境保健研究センター新着情報 5. おすすめメールマガジン 6. 県内のイベント情報 7. 助成金情報
3月号	1.「環境学習交流センター」からのお知らせ 2. 県内各市町村のごみ排出量(速報値) ～12月分～ 3. 環境保健研究センター新着情報 4.「令和4年度中学生水の作文 岩手県コンクール」作品募集 5. おすすめメールマガジン 6. 県内のイベント情報 7. 助成金情報

●環境学習交流センター内での展示／特別企画展示

03

アイーナ5Fの展示スペースを利用し、県内企業の取組や生活に役立つエコな情報等、環境・地球温暖化に関する情報発信を行っています。

No	1	展示名	「とそうでまちつくろう」
		協力	川上塗装工業株式会社
		展示期間	令和3年4月1日～5月5日
		内容	塗布するだけで断熱ができる「断熱セラミックガイナ」とリンクアップウェス「いらない布」の活用について。
No	2	展示名	「県民暮らしの安全課 食育関連ポスター等展示」
		協力	県民暮らしの安全課
		展示期間	令和3年5月7日～6月30日
		内容	食育関連ポスター等の展示
No	3	展示名	「陸前高田発オーガニックチョコレートで美味しいチョコレート習慣を」
		協力	ロッツ株式会社
		展示期間	令和3年6月8日～7月8日
		内容	活動の紹介パネル展示
No	4	展示名	「地球にやさしい床暖房」温風式蓄熱床暖房の紹介
		協力	株式会社青工
		展示期間	令和3年7月9日～8月31日
		内容	「地球にやさしい床暖房」温風式蓄熱暖房「春段治」の紹介
No	5	展示名	(株)ジャパンセミコンダクターの環境保全活動
		協力	(株)ジャパンセミコンダクター
		展示期間	令和3年9月1日～10月31日
		内容	環境保全活動の紹介パネル他表彰状の展示。

No	6	展示名	「いわての豊かな森林と木材」
		協力	岩手県農林水産部林業振興課
		展示期間	令和3年11月1日～11月30日
		内容	いわての豊かな森林と木材の紹介とテーブル・椅子・本棚の展示。
No	7	展示名	もったいないに光りをあてる
		協力	株式会社幸呼来Japan
		展示期間	令和3年12月1日～12月31日
		内容	岩手に古くから伝わる裂き織がどのように作られているかその様子と織機の展示をし、伝統の継承と環境への配慮を意識するきっかけとする。
No	8	展示名	「愛鳥週間ポスターコンクール」作品展示
		協力	岩手県自然保護課
		展示期間	令和4年1月4日～2月13日
		内容	令和3年度は、岩手県内の小学校・中学校等から入賞作品と応募作品（計145点）の展示を行った。
No	9	展示名	東北住建木造住宅の魅力紹介
		協力	東北住建
		展示期間	令和4年2月13日～2月28日
		内容	国産・岩手県産材を使用した木造3階建ての高断熱高気密の快適な社屋の紹介。

●展示・イベントの工夫

ー展示ー

No	1	展示名	星空環境写真展
	展示期間	令和3年4月2日～4月18日	
	内容	星空の見える環境をテーマに様々な星空の写真を紹介。光害による星空の见えない環境について気づき、考える機会とした。	
No	2	展示名	生物多様性
	展示期間	常設	
	内容	生物多様性を考える生き物クラフト展示(魚・昆虫・動物)	
No	3	展示名	岩手の大地が生んだ偉大な先人とSDGsのかかわり
	展示期間	令和3年4月20日～10月5日	
	内容	宮澤賢治の「農民芸術概論綱要」・石川啄木「林冲の譚」などの紹介	
No	4	展示名	グリーンカーテン成長の様子
	開催期間	令和3年4月25日～10月15日	
	内容	朝顔の種まきしよう！ イベントからグリーンカーテン成長の様子・種の採取	
No	5	展示名	森永製菓 環境にやさしい商品とは？
	展示期間	令和3年5月1日～ 5月31日	
	内容	展示：森永製菓の取り組み資料及びパネル・環境に優しい商品（FSC認証商品）等・森永提供のモニターによる環境クイズ（景品の提供：ポケットティッシュ・鉛筆・塗り絵）	

No	6	展示名	二人の絵画展
		展示期間	①環境学習交流センター6月1日～6月10日 ②トモスいのちをつなぐ未来館6月11日～6月20日 ③おしゃっち6月21日～6月30日
		内容	原田 鎮郎・松本 忠氏の絵画展示
No	7	展示名	「釣りゲームコーナー」リニューアル展示
		展示期間	令和3年7月19日～ 常設
		内容	釣りゲームの内容をリニューアルしプラスチック問題を考える体験展示を継続中。
No	8	展示名	「岩手の樹木20種」リニューアル展示
		展示期間	令和3年9月18日～ 常設
		内容	岩手の樹木展示場所をミーティングスペースの資料配架台に展示し、岩手の樹木に目を向ける機会としている。
No	9	展示名	「沿岸だより」
		展示期間	令和3年10月6日～令和4年3月31日
		内容	岩手の4つのエリアをひとつずつ取り上げ、そのエリアで活躍している「人」や「団体」の紹介。
No	10	展示名	朝顔種まきイベント思い出コーナー
		展示期間	令和3年10月19日～常設
		内容	ミーティングスペースの窓辺に朝顔の種まきに参加した皆さんの写真展示とともにグリーンカーテン成長の様子や種の採取など思い出コーナーとして写真の展示を行った。

No	11	展示名	森と海をつなぐプロジェクト第一弾！
	展示期間	令和3年11月18日～令和4年7月中旬予定	
	内容	・盛岡市動物公園ZOOMOよりお借りしたツキノワグマの成獣の剥製と赤ちゃんの剥製の展示 ・「クマの剥製」と「ツキノワグマの生態と人の暮らし」パネル展示	
No	12	展示名	岩手県産木材を活用した木質展示台(2台)の導入
    	展示期間	令和4年3月15日～ 常設	
	内容	「いわての森林づくり県民税」を活用し、令和3年度の『岩手県産木材を活用したいわて県民情報交流センター木質化事業』によって、環境学習交流センターに岩手県産材を活用した展示台を導入した。 杉、ナラ、栗、南部赤松を使用し、温かみのある木のぬくもりが、センター内の展示を和らげ、優しい空間を作り出している。 木育おもちゃに触れあえるコーナーや、環境関連図書を閲覧できるコーナーなど、今後も様々な展示に活用していく予定。	

ーイベントー

No	1	イベント名	NEW MOONコンサート2021・夏～新月の夜に君思う星の彼方へ～
		実施日	令和3年8月8日(日)18:30～19:10
		内容	   新月の夜にアンプラグドイベントを開催し県民の地球温暖化防止啓発を図った。
No	2	イベント名	新月の夜に星に願いを～コンサート&星に願いを～
		実施日	令和3年12月4日(土)10:00～18:00
		内容	   新月の日にNEWMOONを楽しむ会を開催し、地球温暖化防止の啓発を行った。
No	3	イベント名	森と海をつなぐプロジェクト企画 第3弾
		実施日	令和4年3月17日(水祝)14:00～15:40
		内容	 三陸海岸にどのような海ごみが流れ着いているか？大槌高等学校の生徒さんたちが調べた調査結果を発表。岩手県の沿岸地域に起きている環境問題について考える機会とした。

●土日環境学習講座

04

環境学習講座の中でも定期的に開催されている、通称『土日講座』。参加者が気軽にふらっと立ち寄れる講座として、本格的なお話から体験型のイベント、工作等さまざまな内容やテーマで開催しています。

番号	1	講演タイトル	もりおか星空セミナー・スマホを用いた盛岡市の光害調査報告
	日時	令和3年4月10日(土)13:30~15:00	
	講師	吉田 偉峰氏 オンライン併用(盛岡第一高等学校天文部賛助出演)	
	参加者数	15名	
内容	・もりおか星まつりの紹介・星空環境の基礎知識・盛岡星空リサーチ ・盛岡第一高等学校の天文部4名によるスマートフォンを用いた光害調査の発表		

番号	2	講演タイトル	朝顔の種まきしよう！
	日時	令和3年4月25日(日)13:30~15:00	
	講師	センタースタッフ	
	参加者数	18名	
内容	・アサガオ・フウセンカズラ・ひまわり種の観察(色形硬さなど) ・センター内のプランターに、アサガオ・フウセンカズラ・ひまわりの種まきを実施 ・参加者の名前やイラスト入りのPOP作成 ・記念撮影		

番号	3	講演タイトル	「ミツバチやスズメバチから学ぶ」
	日時	令和3年5月22日(土)13:30~15:00	
	講師	藤原 由美子氏	
	参加者数	19名	
内容	・ミツバチやスズメバチの生態と役割 ・植物と昆虫間の不思議な仕組み ・ミツバチの巣にさわってみよう		

番号	4	講演タイトル	「食」×「環境」第16回食育推進全国大会inいわてプログラム
	日時	令和3年6月26日(土)	
	講師	伊藤 憲三氏(録画オンライン配信)	
	参加者数	179名	
内容	・生産国の環境保護の面での栽培、収穫・加工などの技術や持続可能な農園経営の問題 ・国際的なフェアトレードや流通の問題などコーヒーにまつわる環境問題を考える ・コーヒーの歴史 ・コーヒーと健康		

番号	5	講演タイトル	片付けから考える食品ロス
	日時	令和3年6月27日(日)13:30～15:00	
	講師	田鎖 みよ子	
	参加者数	10名	
内容	・シンクグローバリー・アクトローカリー ・片づけるとは ・食品ロス削減		

番号	6	講演タイトル	海が大変！海の生き物会議開催！
	日時	令和3年7月10日(土)13:30～15:00	
	講師	菊池 真美子氏・センタースタッフ	
	参加者数	6名	
内容	・海の生き物会議開催「海の生き物の気持ちになって考えよう」 ・海が大変「身近にあるプラスチック問題を考えてみよう」 ・取り組み事例紹介		

番号	7	講演タイトル	脱炭素生活は地球とお財布にやさしい
	日時	令和3年7月18日(日)13:30～15:00	
	講師	佐々木 幸氏 会場・オンライン併用	
	参加者数	13名	
内容	・ファイナンシャルプランナーとは ・太陽光発電・電気自動車について ・家づくりやってみたら脱炭素 ・年金問題		

番号	8	講演タイトル	太陽光エコハウス工作
	日時	令和3年7月24日(土)13:30～15:00	
	講師	センタースタッフ	
	参加者数	16名	
内容	・再生可能エネルギーとは(風力・太陽光・バイオマス・水力・地熱) ・エコハウスづくり マッキーで色塗り ・組み立て ・記念撮影		

番号	9	講演タイトル	みらいに続く家づくり～リサイクル材料で作るエコハウス工作教室Part6～
	日時	令和3年8月7日(土)10:00～12:00	
	講師	長澤 沙織氏	
	参加者数	26名	
内容	・長澤氏のお話 誰のために家を作るかコンセプトが大事 ・廃材を利用して自分だけの家づくり ・写真撮影		

番号	10	講演タイトル	省エネ住宅ってどんな家？
	日時	令和3年9月23日(木・祝)13:30～15:00	
	講師	小堀 啓氏(録画動画配信)	
	参加者数	62名	
内容	・2030年までに46%減？ ・省エネ住宅 = 健康住宅 ・今の暮らしでできること		

番号	11	講演タイトル	食から考える環境のこと
	日時	令和3年11月3日(水・祝)10:30～12:00	
	講師	伊藤 信子氏(会場・オンライン併用)	
	参加者数	67名	
内容	・森林や水資源の保全、食料問題の解決にもつながる「ヴィーガン」について ・歴史や環境との関係・健康との関係 ・科学的な理論・具体的な実践ガイドなど		

番号	12	講演タイトル	2年間のドイツ暮らしで発見した魅力～環境編～
	日時	令和3年11月7日(日)	
	講師	センタースタッフ(動画配信のみ)	
	参加者数	53名	
内容	2年間のドイツ暮らしで発見した魅力と環境についてのお話 ・ドイツの大企業の取り組み ・BIO-SIEGEL(オーガニック認証マーク) ・ごみ分別法 ・デポジットシステム ・自治体の取り組み ・選挙×若者 ・ドイツ人のおすすめSNSアカウント		

番号	13	講演タイトル	気象予報士受験から学んだ気候のこと・地球温暖化のこと	
	日時	令和3年12月12日(日)13:30～15:00		
	講師	佐々木 勝裕氏(会場・オンライン併用)		
	参加者数	11名		
内容	・気象予報士受験体験談 ・気候変動・地球温暖化のこと ・気候変動に関する政府間パネル第6次評価報告書のこと〔IPCCAR6(WG1)〕			

番号	14	講演タイトル	Pepperと一緒に学ぼう！地球温暖化	
	日時	令和3年12月19日(日)13:30～14:15		
	講師	岩手県環境生活企画室/Pepper		
	参加者数	14名		
内容	岩手県環境生活企画室の職員がファシリテーターとなりPepperと一緒に地球温暖化について学んだ。 ・地球温暖化とはなにか ・地球温暖化によって起きること ・温暖化を防ぐために私たちができること			

番号	15	講演タイトル	未来に続く家づくり～リサイクル材料で作るエコハウス工作教室part7～	
	日時	令和4年1月8日(土)10:00～12:00		
	講師	長澤 沙織氏		
	参加者数	14名		
内容	長澤氏より岩手県産材の特色や素晴らしさ、エコハウスについてのお話をいただき、その後工作体験を行った。 それぞれの思いが詰まった素敵なエコハウスが完成した。			

番号	16	講演タイトル	もったいないに光りをあてる～裂き織ワークショップ開催！！	
	日時	令和4年1月16日(日) ①9:30～②11:00～③13:00～④14:30～⑤16:00～ 各回3名		
	講師	石頭 悦氏		
	参加者数	18名		
内容	岩手に古くから伝わる裂き織がどのように作られているかを体験して頂き、伝統の継承と環境への配慮を意識するきっかけとする講座を開催した。 ・着物の歴史・裂き織についてお話 ・生地を裂く体験 ・織機を使って織る体験 ・縦糸の処理(玉結びを竹串を使ってきっちり止める) ・余分な糸をカットして完成			

番号	17	講演タイトル	Pepperと一緒に学ぼう！地球温暖化
	日時	令和4年2月6日（日）13:30～14:15	
	講師	岩手県環境生活企画室/Pepper	
	参加者数	小学生6名 保護者4名 その他1名 合計11名	
内容	岩手県環境生活企画室の職員がファシリテーターとなりPepperと一緒に地球温暖化について学んだ。 ・温暖化を防ぐために私たちができること ・地球温暖化によって起きること ・温暖化を防ぐために私たちができること		

●アイーナ入居施設との団体協力

05

アイーナ館内の各センターと連携し、イベント等を効果的に開催しています。

	イベント名	SDGs講座
	日時	令和3年通年
	場所	アイーナキャンパス 学習室1(アイーナ7階)
	連携団体	岩手県立大学アイーナキャンパス
内容	岩手県立大学アイーナキャンパスでSDGs講座を開催。センターは共催団体として、ちらしの作成、HPへの掲載、ちらし、ポスターの配架、掲示、参加者受付、実施における準備等で連携協力を行った。	
	イベント名	環境月間に伴うライトアップの実施
	日時	令和3年6月1日～6月7日
	場所	アイーナ6階ラウンジ
	連携団体	NPO活動交流センター
内容	アイーナ6階ラウンジのライトを環境のイメージカラーであるグリーンにライトアップしその様子をSNSで拡散することで県民に「環境月間」の周知PRを図った。	
	イベント名	環境学習講座「海が大変！海の生き物会議開催！」
	日時	令和3年7月10日(土)13:30～15:00
	場所	環境学習交流センター
	連携団体	JICA東北岩手デスク
内容	開発教育プログラム「海の生き物会議」を活用したワークショップの開催。海の現状、プラスチック問題を考える講座を開催した。	
	イベント名	アイーナSDGsワーキング会議
	日時	令和3年8月から継続中
	場所	環境学習交流センター
	連携団体	指定管理・NPO活動交流センター・国際交流協会・JICA東北・環境パートナーシップいわて
内容	アイーナ全体でSDGsに取り組みを進める企画案と実施についての意見交換会を実施。SDGsを切り口とした館内連携推進及び各施設のSDGs推進の活性化を目標とする。	
	イベント名	親子で遊ぼう！キッズラボミニ
	日時	令和3年11月6日・7日
	場所	アイーナ内各企画場所
	連携団体	青少年活動交流センター
内容	親子フェスティバルに向けて実行委員会への参加と実施日の参加者対応協力を行った。	

●訪問学習

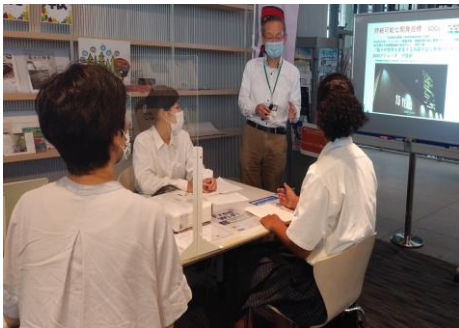
06

環境学習交流センターでは訪問学習を受け付けています。展示や体験キットを使った学習の他、クイズや工作など、楽しみながら環境について学べるプログラムを用意しています。
※許可をいただいた団体のみ写真掲載

番号	1	団体名	岩手大学 人文社会科学部・地域政経課程 環境共生専修プログラム(環境社会学研究室)
	学年	3・4学年	
	日時	令和3年7月6日(火) 13:00～14:20	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	学生15名(3年生9名、4年生6名)・引率1名 (合計16名)	
	対応スタッフ	櫻井 則彰、田近 志保子、大石 光子	
内容	センターの業務と、NPO法人環境パートナーシップいわての説明、SDGsについて、家庭のエコチェック、SDGsアクションカードゲーム「X」体験、発電体験・自由見学、まとめ、質疑応答		
事後評価	【成果】 ・環境学習交流センターと岩手県温暖化防止活動センターの活動内容は理解してもらえた。一緒に活動したり、利用していただきたいものです。 ・SDGsアクションカードゲーム「X」クロスは、やり方の理解も早く、楽しんで行ってもらえた。 ・センター内の発電機器などで、興味深く楽しげに体験していた。 ・質疑応答では講師も即答できないような、かなり踏み込んだ内容もあって、さらに深く知りたい時には、センターに来てもらえば今後につながると思います。 【反省】 ・課題に対して、いろいろな発想で解決することができることを学べたと思うので、これからは課題に対して実践していく力を身につけて欲しいと強く思います。		

番号	2	団体名	岩手県立盛岡ひがし支援学校中学部
	学年	第2学年	
	日時	令和3年7月7日(水) 10:00～11:40	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	中学生10名・引率6名 (合計16名)	
	対応スタッフ	田近 志保子、大石 光子	
内容	環境紙芝居「地球がたいへんだ～！」の読み聞かせ、発電体験・自由見学を3グループに分けて、入れ替えで少人数対応とした。		
事後評価	【成果】 ・先生方の温かい指導のもとに、日常を過ごしていることがうかがえる明るい中学生たちと先生でした。 ・最初はとても緊張していましたが、手回し発電などを回しているうちに、楽しくなって、笑顔になり、帰る時には踊り出しました。こちらも嬉しくなります。 ・「節電」と「地球を守ろう」を覚えてくれたようです。 【反省】 ・「環境紙芝居」の内容を見直す必要がある。		

番号	3	団体名	北海道小樽市立朝里中学校
		学年	3学年
		日時	令和3年7月19日(月) 14:30~15:30
		場所	環境学習交流センター
		人数	8名
		対応スタッフ	櫻井 則彰、田近 志保子、森 一夫、大石 光子
内容	SDGs(海ごみ問題など)・SDGsカフェとセンターの業務についての説明・自由見学		
事後評価	【成果】 ・プラスチックの汚染の深刻さがここまで来ていることを知らなかった。スライドを見て勉強になった。自分もプラスチックの使用後は適正に処理したいとする意見、SDGsの17項目のゴールの関連性について認識を新たにしたいとの感想が寄せられた。		
番号	4	団体名	盛岡第一高等学校
		学年	1学年
		日時	令和3年8月4日(水) 10:00~11:30
		場所	環境学習交流センター
		人数	1名 (及川みえさん)
		対応スタッフ	櫻井 則彰
内容	・ディズニーランドには専門の清掃員「カストーディアル(custodial)」がいる。夜間には別の専門の清掃員が出勤し地面、手すり、遊戯用具などの隅々を清掃する。 ・一方他の公共の場所には特別の清掃員がいない。多くのゴミがいたるところに落ちている。道路の清掃はボランティアの人が行うか、自治体の仕事となる。環境問題の多くも、企業は利益優先で余計な費用はかけない。その考えで汚染を垂れ流してきた。これが環境汚染の外部性である。ディズニーランドの清掃員を高い賃金で雇用できるのは高い入場料があるため。 ・CO2の排出も同じく、企業、発電所、車、多くの人たちが排出の責任を負わない結果が温暖化を招いたことなどを解説。		
事後評価	【成果】 ・温暖化、プラスチックの汚染の現状、SDGsの17項目の関連などをPPT映像と動画を用いて解説。汚染は法整備、市民の考え方の変化で変わり、河川、大気もきれいになりつつある。 ・CO2の排出の課題に対し、世界は2050排出ゼロに向かい急速に動き出した。勉強になったと感想を述べられる。 ・一人ひとりの行動が世界を変える。若い人の活動も活発化してきた。大人も既得権にとらわれず世界を変えるための活動を展開しなければならない。多くの困難が伴うが。		

番号	5	団体名	紫波総合高校 家庭クラブ
	学年	1学年	
	日時	令和3年8月10日(火) 14:00~15:00	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	生徒2名・引率1名(加藤幸美先生)(合計3名)	
	対応スタッフ	櫻井 則彰、田近 志保子	
内容	・手間のかかる資源ごみの分別(生徒が在住する矢巾町は分別が細かい)を何故やらなければならないのか? 高校生2名と進路指導の教諭1名が来訪。1時間ほどPPTを使いSDGs、プラスチック汚染の課題、2030年までにどのような世界を作らなければならないかを話す。 ・何故いまSDGsなのか? 世界の環境状況が逼迫した状況にある。プラネタリーバウンダー、グレートアクセレーションなどの各種指標を示す。・プラスチック汚染が深刻化している。海洋生物のみならず人間の体内にも入り込み、蓄積している報告が見られる。適正な使用と処理が求められる。・温暖化の脅威が増す。人類の生存にかかわる課題。IPCCの報告、産業革命からの世界平均気温の上昇を2℃未満、さらに1.5℃に抑えるは重要な目標であり、この実現に向け世界が岐路に立たされている。・私たちが出来ることをいまずぐに実践していく必要がある。 ・SDGsの基本は、「知識×気づき×実践=」3項目は足し算ではなく掛け算であり実践が0であれば、全てが0になる。 ・国連広報センターが作成した動画2本を最後に見せ、地球環境は私たちにとってHOMEであり、ここが唯一の場所であることを知らせる。		
事後評価	【成果】 ・温暖化、プラスチックの汚染の現状、SDGsの17項目の関連などをPPT映像と動画を用いて解説。 ・一人ひとりの行動が2030年に向け世界の状況を変えることになる。若い人の活動も活発化してきた。大人も若い人たちから学ばなければならない。 ・ごみの分類は必要である。分類されたごみが、その後どう処理されているかが課題、日本は廃棄されたプラスチックもサーマルリサイクルされることが多い。ごみ問題の根本はゴミを減らすことである。消費者がエシカルな存在になる必要がある。		

番号	6	団体名	釜石市立唐丹中学校
		学年	1学年
		日時	令和3年11月2日(火曜日) 10:00~12:10
		場所	環境学習交流センター
		人数	5名
		対応スタッフ	櫻井 則彰、大石 光子、田近 志保子、坂下 慶夏
内容	●「未来は変えられる」 パワーポイントで動画を交えながら説明をした。冒頭15分はSDGsの説明を行い、プラスチック問題、二酸化炭素排出量、日本や世界の状況などを伝えた。 ●センター案内 各展示をSDGs番号と照らし合わせながらセンターの展示を紹介。その他企業展示のコーナーでは、岩手県産材の木工製品を紹介し、間伐材を利用した積み木にも触れた。「沿岸だより」のコーナーでは地域の宝物や優れた活動をしている団体の紹介をした。 ●ワークショップ 岩手・釜石・唐丹の中学生として地元の発展のため、また、「誰一人取り残さない世界」のために何ができるかをワークショップで考えた		
事後評価	【成果】 ・生徒が他人事で終わるのではなく、「講演～センター紹介～ワークショップ」の流れでプログラムを行ったことで自分事、身近なこととして環境問題を捉えることができたというコメントをもらったこと。 ・少人数だったことで、1人1人の意見や考えを深く聞くことができたこと。		

番号	7	団体名	岩手県立盛岡第三高等学校
		学年	3学年
		日時	令和3年11月12日(金)15:15~16:15
		場所	環境学習交流センター
		人数	1名
		対応スタッフ	丸尾 美由紀、田近 志保子
内容	・SDGsについて、自分自身でできることは何かを考えるための相談 ・打ち合わせに参加。(同時刻に土に還る食品残渣を活用した食器を開発した会社等、複数団体の担当者での打ち合わせが予定されていたため、飛び入りで参加)		

番号	8	団体名	岩手県立青松支援学校
	学年	中学部1学年	
	日時	令和3年12月1日(水)9:30～10:40	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	生徒1名・引率3名(合計4名)	
	対応スタッフ	田近 志保子、大石 光子	
	内容	・環境紙芝居「地球が大変だ～」、自由見学、発電体験ほか ※当初生徒が二人訪問する予定だったが、残念ながら当日一人が急に欠席になってしまった。欠席したその生徒のために事前準備してあった3Rクイズラリー(ごみいんぽっしぶる)については、先生が丸太の上に設置したクイズを写真撮影し、学校に戻ってから答え合わせに取り組むこととなった。	

番号	9	団体名	岩手県立岩泉高校
	学年	2学年	
	日時	令和3年12月8日(水)16:30～17:00	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	生徒26名・引率2名(合計28名)	
	対応スタッフ	田近 志保子、大石 光子	
内容	自由見学、発電体験ほか		

番号	10	団体名	岩手県立大槌高校
	学年	1学年	
	日時	令和3年12月13日(月)11:00～15:00	
	場所	環境学習交流センター(午前)・矢巾町役場会議室と役場敷地内のリサイクルモア(午後)	
	人数	1学年10名・引率1名(合計11名)	
	対応スタッフ	丸尾 美由紀、坂下 慶夏、櫻井 則彰	
内容	推進員による討議、矢巾町役場に移動しての町長のごみ問題の講話、町職員の説明、リサイクルモアの見学		

●いわてこどもエコクラブ等ネットワークの構築

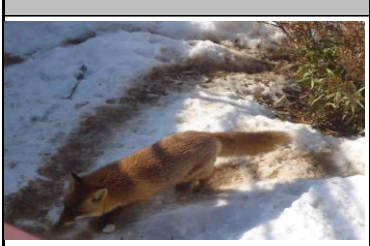
県内で活動するこどもエコクラブ会員の活動を支援したり、クラブ同士の交流の場を設けたりしながら、ネットワークの構築を目指します。

07

こどもエコクラブ交流会：県内のクラブ同士の交流と子供達の自然体験の場として開催しました。

1	「おおつち海の勉強室&ひょっこりひょうたん島探検隊」～おおつちの魅力を探ろう～	
	日時	令和3年11月28日(日)9:40～18:35
	場所	盛岡(マリオス1階玄関)集合→釜石トモス鵜の郷交流館→おおつち海の勉強室→ひょっこりひょうたん島→盛岡(マリオス1階玄関)到着解散
	参加者数	子供17名+大人12名+スタッフ4名＝総勢33名
	協力者等	海の勉強室の先生3名、釜石トモス鵜の郷交流館、いのちをつなぐ未来館
内 容	・盛岡(マリオス1階玄関)集合、バスとエコカーゴで出発→釜石トモス鵜の郷交流館(お昼、ここから、岩泉エコキッズと合流) ・おおつち海の勉強室見学とひょっこりひょうたん島探検に分かれて活動。 ・海の勉強室研究棟の天井画の前に岩泉エコキッズと盛岡キッズ集合し観賞。 ・岩泉キッズは岩泉へ。盛岡キッズは盛岡へ(マリオス1階玄関)到着後解散。	

こどもエコクラブサポーターズミーティング：こどもたちとサポーター間の交流の場として開催しました。

2	「森と海をつなぐプロジェクトin ZOOMO」(こどもエコクラブサポーターズミーティング)	
	日時	令和4年2月23日(土)13:30～15:30
	場所	アイーナ5階 環境学習交流センター
	参加者数	参加者22名
内 容	・休園中の動物公園の専門スタッフの中継を会場とオンライン参加者で視聴した。 ・冬の寒い時期の普段みることのできない動物たちの様子をご紹介いただいた。 ・会場とオンライン参加者による意見交換会。	

こどもエコクラブNEWSいわて：交流会や県内の活動の様子、イベント情報などを年2回発信しています。

Vol.33	 いわてこどもエコクラブ NEWS Vol.33 2021年 こどもエコクラブ交流会 『おおつち海の勉強室&ひょっこりひょうたん島探検隊』～おおつちの魅力を探ろう～ 令和3年11月28日(日)、こどもエコクラブ交流会を開催しました。会場は、盛岡(マリオス1階玄関)集合、バスとエコカーゴで出発→釜石トモス鵜の郷交流館(お昼、ここから、岩泉エコキッズと合流)→おおつち海の勉強室見学とひょっこりひょうたん島探検に分かれて活動。海の勉強室研究棟の天井画の前に岩泉エコキッズと盛岡キッズ集合し観賞。岩泉キッズは岩泉へ。盛岡キッズは盛岡へ(マリオス1階玄関)到着後解散。	●令和3年12月発行 ・特集こどもエコ交流会「おおつち海の勉強室&ひょっこりひょうたん島探検隊」～おおつちの魅力を探ろう～ ・海の勉強室での学習の様子、ひょっこりひょうたん島探検の様子、天井画観賞の様子を報告
Vol.34	 いわてこどもエコクラブ NEWS Vol.34 2022年 こどもエコクラブサポーターズミーティング 『森と海をつなぐプロジェクト in ZOOMO』 令和4年2月23日(土)、こどもエコクラブサポーターズミーティングを開催しました。会場は、アイーナ5階 環境学習交流センター。休園中の動物公園の専門スタッフの中継を会場とオンライン参加者で視聴し、冬の寒い時期の普段みることのできない動物たちの様子をご紹介いただいた。会場とオンライン参加者による意見交換会。	●令和4年3月発行 ・「森と海をつなぐプロジェクトin ZOOMO」というタイトルでこどもエコクラブサポーターズミーティング開催の様子を特集とした。 ・休園中の動物公園の専門スタッフの中継。 ・冬の寒い時期における普段みられない動物たちの様子。

●岩手県環境アドバイザー派遣事業

08

県民の皆様が環境問題に関する研修会等を開催する場合に、その研修会の講師として環境アドバイザーを派遣しています。写真提供のありました団体のみ掲載しています。他、派遣実績一覧を参照ください。

実施日	5月10日	主催者	宮古地区社会教育振興協議会	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	10名		
研修会		令和3年度第1回社会教育関係職員等研修会			
テーマ		自然			
内容		最初に、研修室でスライドを使って講義を行った。日没の定義や当日の観察条件等について学習し、観測機材の性能や使い方、外での観察時の留意点について説明していただいた。次に、施設玄関へ移動し、天体望遠鏡の使い方について、実際の機材を使いながら説明していただいた。外に出てからは、望遠鏡で狙った星を観察するポイントを襲えていただきながら星空観察を行った。途中で、ポインターを使いながら実際の星について解説を加えていただいた。			



実施日	5月10日	主催者	宮古地区社会教育振興協議会	アドバイザー	中島 崇
		対象	10名		
研修会		令和3年度第1回社会教育関係職員等研修会			
テーマ		ミニロケットストーブづくり			
内容		先ず、ロケットストーブの仕組みや作り方について、スライドを使って説明していただいた。その後、場所を移し、参加者を小グループに分けて、順番に説明しながらミニロケットストーブの作成を行った。缶切りや電動ドリル、金切りバサミ等、初めて手にする参加者が多い中での制作だったが、全員怪我なく完成させることができた。 最後には、燃焼実験を行い、全員のストーブが使える状態であることを確認していただいた。			



実施日	5月23日	主催者	赤生津地域活性化協議会	アドバイザー	川田 昌代
		対象	37名		
研修会		私達の地域の里山の四季を体験しながら学ぶもの①			
テーマ		自然			
内容		これまで積み上げてきた調査の成果を沢山の人達に知ってもらうため、昨年作成した「経塚・月山植物ガイドブック」を活用して新緑の経塚・月山一帯の植物解説を交えて散策を行った。参加者が多かったことから、ガイドブックに載っている植物については、散策路に植物名をカードに標記し、後から来た者にも分かり易いように川田さんには工夫を頂き、好評であった。			



実施日	6月4日	主催者	奥州市立稲生小学校(奥州市生活環境課)	アドバイザー	小沢 宗
		対象	4学年12名 教師1名		
研修会		奥州市			
テーマ		水生生物			
内容		講師が事前に採取した水生生物を分類し、観察する室内学習の形での実施であった。 生物の分類・水質判定では、下敷きをみたり、講師に質問したりしながら、真剣に生物を分類していた。解剖顕微鏡を使用し、気に入った生物を観察して、特徴などを絵にした。気づいたことなどのコメントも記入し、良く観察出来ていた。 調査後に、講師から食物連鎖の仕組みについての話があった。			



実施日	6月6日	主催者	特定非営利活動法人おはなしころりん	アドバイザー	本多 サト子
		対象	15名		
研修会		手作りマスク&キッチンキャップを作ろう！			
テーマ		リサイクル			
内容		昨年度、開催した「手づくりマスク&におい袋を作ろう！」の参加者がリピーターとして来られていたことから、講師のファンが少なくないことがうかがえた。講師の丁寧な指導と楽しい語り口で、終始和やかな雰囲気の中で研修会がおこなわれた。参加者からは、使用する機会がない手拭い生地がマスクやキッチンキャップになり、再利用の素晴らしさを感じする声が発せられる場面があった。			

実施日	6月9日	主催者	和賀地区自治協議会	アドバイザー	佐井 守
		対象	西和賀町立沢内小学校3学年児童		
研修会		水生生物調査			
テーマ		水質			
内容		①尻平川で1時間ほど、川の状態調査、水生生物の採取を行った。 ②学校に戻り、水生生物の仲間わけを行い、尻平川がきれいな川であることを確認した。 ③水生生物の生態についての講義が行われた。 ④児童からの質問や感想発表を行った。			
実施日	6月13日	主催者	岩手県立青少年の家	アドバイザー	大友 晃
		対象	36名(応募者28名、職員8名)		
研修会		ファミリートレッキング			
テーマ		自然			
内容		初めて親子登山をする家族もいたが、大友氏のガイドにより、ゆとりのあるペース配分で、全員が安全に楽しく終えることができた。また、自然の知識も豊富で、熊の爪痕やシカの足跡等を具体的に教えたり、子どもたちに木登りをさせたり、親子が十分満足のできる充実した登山の内容であった。			
実施日	6月26日	主催者	赤生津地域活性化協議会	アドバイザー	川田 昌代
		対象	17名		
研修会		私達の地域の里山の四季を体験しながら学ぶもの②			
テーマ		自然			
内容		ホタル観察と説明			
実施日	6月30日	主催者	奥州市生活環境課(環境事業)	アドバイザー	花澤 淳
		対象	3・4学年11名 教師2名		
研修会		水生生物調査			
テーマ		水質			
内容		水生生物調査の説明では、昨年度実施した児童もおり、実施した児童は下の学年の児童へ教えてあげるように話があった。どんな生物がいると思うかや水質の状態はどうかなどの仮説を立てて調査を実施した。川の危険な箇所について、十分に把握させてから採取を始めた。水生生物採取では、最初は川に入るのを躊躇している様子も見られたが、ヤゴやエビを夢中になって採取していた。生物の分類・水質判定では、講師に質問するなどして真剣に分類していた。自分の班以外の班がどんな生物を採取したのかを確認した。採取した生物を川へ戻す際にお礼を言って帰してあげていた。調査のあと、講師から食物連鎖の仕組みについて説明があった。きれいな川の状態をみんなで守っていく必要があると話した。			
実施日	7月1日	主催者	一関弥栄市民センター	アドバイザー	千田 典文
		対象	12名		
研修会		弥栄市民センター成人事業自然観察会			
テーマ		自然			
内容		一関市巖美町内及び萩町地内の大江堰用水路沿いを歩き、講師の千田典文氏より草花や樹木の名前や生態について、さらには野鳥の鳴き声や名前の由来などについて、興味深いお話を聞き、身近な自然について学んだ。用水路の歴史や構造についてのお話も伺うことができた。			
実施日	7月14日	主催者	花巻太陽の子保育園	アドバイザー	櫻井 則彰・高橋 良和
		対象	保育園児・保護者・職員合計41名		
研修会		八幡平登山			
テーマ		自然			
内容		八幡平ビジターセンター→黒谷地登山口→八幡平頂上 自然観察を行いながら余裕をもって安全に登山を行うことができた。			

実施日	7月16日	主催者	奥州市生活環境課(環境事業)	アドバイザー	花澤 淳
		対象	3学年14名 教師3名		
研修会		水生生物調査			
テーマ		水質			
内容		講師が水生生物調査をなぜするのかについて児童に問いかけ、水性生物調査のメリットについて説明してから調査を実施した。生物採取では、サワガニを見つけて大騒ぎする児童の様子が見られた。最初は手袋をしていた児童もいたが、後半は気にせず昆虫に触れていた。脱皮したばかりのサワガニがおり、甲羅の硬さの違いを実感した。生物の分類・水質判定では、講師に質問したりしながら、真剣に生物を分類していた。調査後に、講師から食物連鎖の仕組みについての話があった。水生生物昆虫が成長するとどんな姿になるのかの話があり、変化に驚く児童が多かった。今回の判定で水質階級がとてもきれいな水という判定になったが、今の状態をこれからも守り続けていくように児童に考えてもらいたいと話した。			

実施日	7月16日	主催者	花巻農業協同組合 女性部 笹間支部	アドバイザー	若生 和江
		対象	9名		
研修会		SDGs研修会			
テーマ		SDGs			
内容		コロナワクチン接種日と重なってしまい、申込はしていたが不参加の部員もあり、少し残念でした。SDGsについて、良い意味でくだけてお話し下さり、身近な、出来る事から取組めば良いのだと気付かせていただきました。私物のかご・風呂敷等持ってきてくださり、目にも楽しかったです。教えていただいた新聞紙でつくるエコ袋、活用したいです。			

実施日	7月18日	主催者	とうわ野鳥の会	アドバイザー	根子 英郎
		対象	24名(うち子供7名)		
研修会		川の生き物を調べよう			
テーマ		水質			
内容		魚類、水生昆虫などを捕まえた後、講師から班をまわり解説していただいた。例年よりも水生昆虫がやや少なかったのは先日の雨の影響か、沼や田んぼに生息しているアメリカザリガニは流れてきたのでは、と講師から話があった。今回は大人17名に加え、中学生2名、小学生2名、未就学児3名もの参加があり、講師の熱心でわかりやすい説明で、活気のある楽しく有意義な観察会であった。			

実施日	7月25日	主催者	畑地区農地水資源保全組合	アドバイザー	高橋 良和・平本 尚人
		対象	60名		
研修会		地域の川にふれよう			
テーマ		自然			
内容		当日は天気も良く、熱中症が心配されたが滞りなく無事に終了した。参加者の皆様には大変充実した時間を過ごしていただいたようだった。			

実施日	7月28日	主催者	奥州市生活環境課(奥州市環境事業)	アドバイザー	小沢 宗
		対象	奥州市立江刺第一中学校 科学部16名 教師2名		
研修会		水生生物調査			
テーマ		水質			
内容		水生生物調査の目的について、講師が説明を行い、母校の科学部生徒が対象ということで自己の科学部時代の体験等を交えながら、本日の学習会でさらに生物等に興味を持ってもらいたいと話した。台風の上陸に備え、講師が前日に採取していた生物の分類・水質判定を行った。自分たちで下敷きを見ながら積極的に生物の同定を行っていた。パックテストによる水質調査も実施し、川の水、田んぼの水、水道水の3種の反応の違いを体験した。パックテストの反応結果については、授業で習っていないため、講師から解説をしてもらった。生物観察では双眼実体顕微鏡などを使い、生物の特徴について講師に質問しながら観察した。気に入った生物を夢中になって観察していた。調査後に、講師から食物連鎖の仕組みについての話があった。			

実施日	7月29日	主催者	黒岩自治振興会	アドバイザー	藤原 正
		対象	白山わいわい塾生7名、大人5名		
研修会		少年少女学級 白山わい・わい塾「水辺の生き物調査」			
テーマ		水質			
内容		猛暑による熱中症、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策に注意をしながら（気温30℃、水温19℃）水生生物の採取・観察を行った。サワガニやトビゲラ類が多く採取出来たことから、きれいな水であることを学び、これからもゴミを捨てないことなど環境を大事にする大切さを学んだ。			



実施日	8月2日	主催者	奥州市生活環境課(奥州市環境事業)	アドバイザー	花澤 淳・川田 昌代
		対象	科学部27名 教師2名		
研修会		水生生物調査			
テーマ		水質			
内容		水生生物調査の目的について、講師が生徒に問いかけながら説明。水質を調べてその川をこれからどうしていかななくてはいいないか考えるところまでで調査として欲しいとのこと。他の水質を調べる方法と水生生物調査の違いを話し、楽しんで採取してもらいたいと語った。生物採取に夢中になり、もっと採取したかったという声が多く聞かれた。 生物の分類・水質判定では、下敷きをみたり、講師に質問したりしながら、真剣に生物を分類していた。2種類(COD、pH)のパックテストも実施し、川の水と水道水の反応の違いを体験した。調査後に、講師から食物連鎖の仕組みについての話があった。食物連鎖の中に入らない人間が如何に他の生物のことを考えて生きていくかがこれからの生態系がどのように変わっていくかの鍵であると話した。			

実施日	8月5日	主催者	一関市涌津市民センター	アドバイザー	千田 典文
		対象	28名		
研修会		わくわく広場「自然体験・昆虫採取・沢遊び」			
テーマ		自然			
内容		最初の研修は震災遺構祭時大橋の見学を行った。すっかり草木でおおわれてしまった地震による陥没跡や波打った道路を示し当時の状況を詳しく教えていただいた。 いちのせき健康の森到着後、周辺の自然探検、昆虫採集を行った。とのさまバッタが多く採取でき子どもたちも喜んだいた。普段身近で見ることができない昆虫が多く、指導員の千田さんに採取した虫の名前や特徴を教えてくださいました。さらに沢遊びでは、サンショウウオやヒキガエル、カジカなどの名前や生息場所、特徴などをわかりやすく教えていただいた。			



実施日	10月5日	主催者	胆沢平野土地改良区	アドバイザー	川田 昌代
		対象	奥州市立若柳小学校3年生20名		
研修会		ビオトープ生き物勉強会			
テーマ		自然			
内容		新型コロナウイルス感染防止に留意し、児童が楽しみながら学べるような工夫をいただき、ビオトープ池に生息する植物や生き物を観察したり、詳しく説明や解説をいただきました。			



実施日	10月21日	主催者	洋野町立帯島小学校	アドバイザー	中野 雅之
		対象	小学生14名 引率教師3名 サポート隊2名		
研修会		海と森のつながり環境を学ぶ			
テーマ		自然			
内容		帯島小学校の連年の取り組み、森から海を通じて体験的に自然や環境を学ぶ。車いすの子供をサポート、どんな時も助け合いみんなの海や山川を未来に残したい。 海のゴミを拾い「護美ごみモニュメント」を作り、その後魚釣りを全員で行った。風も強く波も高くても、みんなでアジやウグイ、フグが釣れて楽しさの中に厳しさを味わった良い体験であったと思う。			

実施日	10月24日	主催者	KMYプロジェクト実行委員会	アドバイザー	佐藤 良平
		対象	100名		
研修会		リバースクール狐禅寺第二弾「川遊びまつりin 滝沢川」			
テーマ		水質			
内容		会場体育館前で、サケと滝沢川について解説。未就学児～小学生47人がサケの生態や習性を教わった。滝沢川の川辺では、サケの遡上状況を確認。昨年と違い、魚類は見つからなかったものの、シジミやザリガニの殻などを観察して水生生物について学んだ。			



実施日	11月12日	主催者	特定非営利活動法人 居場所創造プロジェクト	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	4名		
研修会		着物リメイク教室①			
テーマ		リサイクル			
内容		環境講座としてタンスにしまいこんでいる着物の活用方法について学びます。 新型コロナウイルス感染症予防のため、新規の募集は行わず継続して参加の方 で運営のお手伝いをしてもらいながら進めました。 11月から3月までは冬時間(10時～15時までの実質4時間)で講座を行います。			



実施日	12月10日	主催者	特定非営利活動法人 居場所創造プロジェクト	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	4名		
研修会		着物リメイク教室②			
テーマ		リサイクル			
内容		環境講座としてタンスにしまいこんでいる着物の活用方法について学びます。 新型コロナウイルス感染症予防のため、新規の募集は行わず継続して参加の方 で運営のお手伝いをしてもらいながら進めました。 11月から3月までは冬時間(10時～15時までの実質4時間)で講座を行います。			



実施日	12月11日	主催者	高松地区保健センター	アドバイザー	川村 晃寛
		対象	36名		
研修会		環境学習講座「ミニチュア箱庭枯山水作り！」			
テーマ		自然			
内容		講師の川村氏に材料を用意いただき、身近な自然にあるものを中心に参加者思いの箱庭または枯山水を作成した。中でも流木を採取いただいた海岸において、漂着したプラスチックごみの写真を提示いただき海洋プラスチックごみ問題について、他人事ではなく身近な問題として捉える機会となった。			



8 環境アドバイザー派遣実績一覧

No.	実施月日	アドバイザー	参加人数	主催者	区分	地域	研修会等名	派遣先
1	4月22日	千田 典文	31	一関市弥栄市民センター	公共施設	一関市	弥栄市民センター高齢者事業 静修大学入学式記念講話	一関市弥栄市民センター
2	4月24日	吉田 偉峰	30	浄土ヶ浜ビジターセンター運営協議会	公共施設	宮古市	浄土ヶ浜ナイトツアー ～満天の星空観察～	浄土ヶ浜ビジターセンター
3	4月25日	千田 典文	24	いちのせき健康の森	公共施設	一関市	自然観察会「春の散策」	いちのせき健康の森
4	5月8日	吉田 偉峰	10	八幡平銀河ステーション	公共施設	八幡平市	星を見る会	七時雨山荘
5	5月10日	吉田 偉峰	10	宮古地区社会教育振興協議会	市町村	山田市	令和3年度第1回宮古地区社会教育関係職員等研修会	岩手県立陸中海岸青少年の家
6	5月10日	中島 崇	11	宮古地区社会教育振興協議会	市町村	山田市	令和3年度第1回宮古地区社会教育関係職員等研修会	岩手県立陸中海岸青少年の家
7	5月15日	粒針 文子	8	高齢者と家族の防災を考える会	市民団体	盛岡市	旬の食材を知る・食べる・エコクッキング講座①	ブラザおでって
8	5月19日	大友 晃	5	岩手県立県北青少年の家	公共施設	二戸市	6月8日(火)開催予定の事業「レッツ！トレッキング①」の職員実地調査	八幡平山頂レストハウス～八幡平山頂～八幡平山頂レストハウス(左回り)
9	5月23日	川田 昌代	37	赤生津地域活性化協議会	市民団体	奥州市	私達の地域の里山の四季を体験しながら学ぶもの(今回のテーマ:新緑の経塚月山の観察)	「月山憩いの広場」
10	5月24日	粒針 文子	9	市民生活研究会	市民団体	盛岡市	今知っておきたい、身近な環境問題とその対策について	ブラザおでって
11	5月26日	内田 尚宏	105	盛岡市立山岸小学校	小学校	盛岡市	中津川探検	盛岡市立山岸小学校 および中津川河川敷
12	5月26日	佐井 守	105	盛岡市立山岸小学校	小学校	盛岡市	中津川探検	盛岡市立山岸小学校 および中津川河川敷
13	5月26日	菊池 拓巳	104	盛岡市立山岸小学校	小学校	盛岡市	中津川探検	盛岡市立山岸小学校 および中津川河川敷
14	5月27日	大友 晃	10	盛岡市環境部環境企画課	市町村	盛岡市	盛岡市環境学習講座「春の姫神山に登ってみよう！」	姫神山(一本杉コース、コワ坂コース)
15	5月28日	千田 典文	17	関ヶ丘市民センター	公共施設	一関市	関ヶ丘市民センター事業「トレッキング教室」	束稲山
16	5月30日	千田 典文	18	いちのせき健康の森	公共施設	一関市	自然観察会「ノビネドリ」	いちのせき健康の森
17	5月31日	亀山 喜作	10	三陸春風の会 岩山支部	市民団体	盛岡市	植物観察会	岩手大学(駐車場集合)
18	6月4日	小沢 宗	13	奥州市立稲瀬小学校	小学校	奥州市	奥州市環境学習事業(水生生物調査)	奥州市立稲瀬小学校
19	6月5日	加藤 直子	195	釜石市役所市民生活部生活環境部	市町村	釜石市	環境月間事業『釜石市自然・生活環境展』	釜石市民ホール(TETTO)
20	6月5日	臼澤 良一	195	釜石市役所市民生活部生活環境部	市町村	釜石市	環境月間事業『釜石市自然・生活環境展』	釜石市民ホール(TETTO)
21	6月6日	本多 サト子	15	特定非営利活動法人おはなしころりん	NPO	大船渡市	手づくりマスク&キッチンキャップを作ろう！	大船渡市防災観光交流センターおおふなぼーと
22	6月8日	大友 晃	25	岩手県立県北青少年の家	公共施設	二戸市	6月8日(火)開催予定の事業「レッツ！トレッキング①」	八幡平山頂レストハウス～八幡平山頂～八幡平山頂レストハウス(左回り)
23	6月8日	小沢 宗	30	北上市立黒沢尻東小学校	小学校	北上市	北上市小学校教育研究会 理科部会	北上市展勝地・みちのく民族村付近
24	6月8日	川田 昌代	30	北上市立黒沢尻東小学校	小学校	北上市	北上市小学校教育研究会 理科部会	北上市展勝地・みちのく民族村付近
25	6月9日	佐井 守	16	和賀地区自治協議会	自治会	北上市	水生生物調査	尻平川(おちあい橋上流100m付近)
26	6月10日	吉田 偉峰	18	山田町町民課	市町村	山田町	水生生物調査	織笠川旧鮭採卵所付近
27	6月11日	佐井 守	10	西和賀町立沢内小学校	小学校	西和賀町	第3学年「水生生物調査」	弁天島(厳島神社)
28	6月12日	吉田 偉峰	27	矢巾町活動交流センター	市町村	矢巾町	やはばーく 親子星空観察会	矢巾町活動交流センター
29	6月13日	大友 晃	36	岩手県立県南青少年の家	公共施設	金ヶ崎町	ファミリートレッキング	北上山系物見山
30	6月14日	佐井 守	40	和賀地区自治協議会	自治会	北上市	水生生物調査	鈴鴨川(開拓1号橋の下付近)
31	6月15日	小赤澤 直子	6	一関市小梨市民センター	公共施設	一関市	令和3年せんやま里山塾 リフォームコース(古着の有効活用リメイク教室)	一関市小梨市民センター
32	6月15日	高橋 良和	10	盛岡ベットワールド専門学校	専門学校	盛岡市	自然と生き物の繋がり調査	盛岡ベットワールド専門学校
33	6月17日	内田 尚宏	105	盛岡市立山岸小学校	小学校	盛岡市	中津川探検	盛岡市立山岸小学校 および中津川河川敷
34	6月17日	佐井 守	105	盛岡市立山岸小学校	小学校	盛岡市	中津川探検	盛岡市立山岸小学校 および中津川河川敷
35	6月17日	菊池 拓巳	105	盛岡市立山岸小学校	小学校	盛岡市	中津川探検	盛岡市立山岸小学校 および中津川河川敷
36	6月18日	内田 尚宏	75	盛岡市立城南小学校	小学校	盛岡市	めざせ！環境守り隊 ～水のまちもりおかについて調べよう～	盛岡市立城南小学校
37	6月19日	粒針 文子	8	高齢者と家族の防災を考える会	市民団体	盛岡市	旬の食材を知る・食べる・エコクッキング講座②	ブラザおでって
38	6月21日	高橋 良和	17	雫石町立御明神小学校	小学校	雫石町	総合的な学習	雫石町立御明神小学校
39	6月22日	千田 典文	3	一関市厳美市民センター	公共施設	一関市	厳美市民センター女性教室「いきいき生活術」自然観察会	一関市内蘭梅山
40	6月22日	内田 尚宏	82	盛岡市立城南小学校	小学校	盛岡市	めざせ！環境守り隊 ～水のまちもりおかについて調べよう～	盛岡市立城南小学校～中津川
41	6月22日	菊池 拓巳	82	盛岡市立城南小学校	小学校	盛岡市	めざせ！環境守り隊 ～水のまちもりおかについて調べよう～	盛岡市立城南小学校～中津川
42	6月22日	佐井 守	82	盛岡市立城南小学校	小学校	盛岡市	めざせ！環境守り隊 ～水のまちもりおかについて調べよう～	盛岡市立城南小学校～中津川
43	6月24日	泉山 博直	13	宮古市立新里小学校	小学校	宮古市	自然教室	閉伊川河原(湯ったり館そば)
44	6月24日	水木 高志	44	宮古市立磯鶏小学校	小学校	宮古市	総合的な学習の時間『八木沢川探検隊』	八木沢川(上流)
45	6月26日	川田 昌代	17	赤生津地域活性化協議会	市民団体	奥州市	赤生津の里山散策会(2)	奥州市前沢生母字荒谷「赤生津分館」

No.	実施月日	アドバイザー	参加人数	主催者	区分	地域	研修会等名	派遣先
46	6月27日	佐井 守	27	(株)展勝地	企業	北上市	結っこ田んぼ 第2回 除草	北上市みちのく民俗村内 田んぼ
47	6月27日	多門 真咲	20	一関市舞川市民センター	公共施設	一関市	水辺の環境まつり	一関市舞川 番台川付近
48	6月28日	千田 典文	23	一関市立東山小学校	小学校	一関市	見て触れて感じる唐梅館公園の自然(校外学習)	唐梅館総合公園
49	6月28日	高橋 良和	12	一関市立興田小学校	小学校	一関市	興田川の水生生物を調べよう	一関市立興田小学校
50	6月28日	櫻井 則彰	12	一関市立興田小学校	小学校	一関市	興田川の水生生物を調べよう	一関市立興田小学校
51	6月29日	川田 昌代	25	奥州市立衣川小学校	小学校	奥州市	奥州市環境学習事業(水生生物調査)	奥州市立衣川小学校
52	6月29日	内田 尚宏	54	盛岡市立太田東小学校	小学校	盛岡市	総合的学習の時間1	盛岡市立太田東小学校
53	6月29日	菊池 拓巳	54	盛岡市立太田東小学校	小学校	盛岡市	総合的学習の時間1	盛岡市立太田東小学校
54	6月29日	佐井 守	54	盛岡市立太田東小学校	小学校	盛岡市	総合的学習の時間1	盛岡市立太田東小学校
55	6月30日	内田 尚宏	105	盛岡市立山岸小学校	小学校	盛岡市	中津川探検	盛岡市立山岸小学校 および中津川河川敷
56	6月30日	佐井 守	105	盛岡市立山岸小学校	小学校	盛岡市	中津川探検	盛岡市立山岸小学校 および中津川河川敷
57	6月30日	菊池 拓巳	105	盛岡市立山岸小学校	小学校	盛岡市	中津川探検	盛岡市立山岸小学校 および中津川河川敷
58	6月30日	花澤 淳	13	奥州市立梁川小学校	小学校	奥州市	奥州市環境学習事業(水生生物調査)	奥州市立梁川小学校
59	6月30日	藤原 正	24	黒岩自治振興会	市民団体	北上市	少年少女学級 白山わい・わい塾 「ホタル観察会」	黒岩地区交流センター
60	7月1日	千田 典文	12	一関弥栄市民センター	公共施設	一関市	弥栄市民センター成人事業自然観察会	一関市巖美町内照井堰用水路沿い市道
61	7月2日	内田 尚宏	54	盛岡市立太田東小学校	小学校	盛岡市	総合的学習の時間2	盛岡市立太田東小学校
62	7月2日	松尾 亨	20	洋野町立大野小学校	小学校	洋野町	総合的な学習の時間における水質調査	大野川(上川原地区)
63	7月2日	中野 雅幸	20	洋野町立大野小学校	小学校	洋野町	総合的な学習の時間における水質調査	大野川(上川原地区)
64	7月2日	高橋 良和	22	遠野市立上郷小学校	小学校	遠野市	水生生物調査	遠野市立上郷小学校
65	7月2日	櫻井 則彰	22	遠野市立上郷小学校	小学校	遠野市	水生生物調査	遠野市立上郷小学校
66	7月2日	藤原 正	10	遠野市立綾織小学校	小学校	遠野市	水生生物調査	遠野市立綾織小学校
67	7月3日	吉田 偉峰	25	矢巾町活動交流センター	公共施設	矢巾町	やはばーく セタ 親子星空観察会	矢巾町活動交流センター
68	7月4日	大友 晃	9	西部地区生涯教育センター	公共施設	金ヶ崎町	成人講座駒ヶ岳トレッキング	駒ヶ岳
69	7月6日	高橋 良和	15	安代地域多面的機能保全組織	市町村	八幡平市	安比川水生生物・水質調査	安代土地改良区(安比川 荷軽井沢付近)
70	7月6日	佐井 守	15	安代地域多面的機能保全組織	市町村	八幡平市	安比川水生生物・水質調査	安代土地改良区(安比川 荷軽井沢付近)
71	7月6日	水木 高志	48	宮古市立磯鷄小学校	小学校	宮古市	総合的な学習の時間『八木沢川探検隊』	八木沢川(上流)
72	7月7日	内田 尚宏	97	盛岡市立下橋中学校	中学校	盛岡市	第1学年 川体験にむけての講演会	盛岡市立下橋中学校 体育館
73	7月7日	粒針 文子	8	高齢者と家族の防災を考える会	市民団体	盛岡市	旬の食材を知る・食べる・エコクッキング講座	ブラザおでって
74	7月8日	内田 尚宏	34	盛岡市立下橋中学校	中学校	盛岡市	第1学年 川体験	盛岡市立下橋中学校 中津川
75	7月8日	菊池 拓巳	34	盛岡市立下橋中学校	中学校	盛岡市	第1学年 川体験	盛岡市立下橋中学校 中津川
76	7月9日	内田 尚宏	33	盛岡市立下橋中学校	中学校	盛岡市	第1学年 川体験	盛岡市立下橋中学校 中津川
77	7月9日	菊池 拓巳	33	盛岡市立下橋中学校	中学校	盛岡市	第1学年 川体験	盛岡市立下橋中学校 中津川
78	7月10日	根子 英郎	22	東和地区教育振興運動実践協議会浮田支部	自治会	花巻市	毒沢川の水生生物調査 浮田地区コミュニティ会議共催事業	下浮田地内の毒沢川
79	7月10日	吉田 偉峰	16	八幡平銀河ステーション	市民団体	八幡平市	星を見る会	七時雨山荘
80	7月10日	佐井 守	30	湯田小学校6学年	小学校	西和賀町	湯田小学校6学年「親子学習会(和賀川の水生生物調査)」	和賀川
81	7月10日	橋 一則	30	湯田小学校6学年	小学校	西和賀町	湯田小学校6学年「親子学習会(和賀川の水生生物調査)」	和賀川
82	7月11日	佐井 守	21	西和賀町立湯田中学校3学年PTA	中学校	西和賀町	川の学習会	西和賀町槻沢地内(和賀川)
83	7月11日	橋 一則	21	西和賀町立湯田中学校3学年PTA	中学校	西和賀町	川の学習会	西和賀町槻沢地内(和賀川)
84	7月12日	吉田 偉峰	78	二戸市立金田一小学校	小学校	二戸市	4・5・6合同星空教室	二戸市金田一小学校体育館
85	7月13日	泉山 博直	15	岩泉町立大川小学校	小学校	岩泉町	水生生物調査	岩泉町立大川小学校
86	7月13日	内田 尚宏	93	盛岡市立中野小学校	小学校	盛岡市	水の学習	盛岡市立中野小学校
87	7月14日	高橋 良和	41	花巻太陽の子保育園	保育園・幼稚園	八幡平	八幡平登山	八幡平ビジターセンター付近
88	7月14日	櫻井 則彰	41	花巻太陽の子保育園	保育園・幼稚園	八幡平	八幡平登山	八幡平ビジターセンター付近
89	7月15日	内田 尚宏	33	盛岡市立下橋中学校	中学校	盛岡市	第1学年 川体験	盛岡市立下橋中学校 中津川
90	7月15日	菊池 拓巳	33	盛岡市立下橋中学校	中学校	盛岡市	第1学年 川体験	盛岡市立下橋中学校 中津川
91	7月15日	花澤 淳	14	遠野市立達曽部小学校	小学校	遠野市	水生生物水質調査	達曽部川

No.	実施月日	アドバイザー	参加人数	主催者	区分	地域	研修会等名	派遣先
92	7月15日	根子 英郎	17	遠野市立宮守小学校	小学校	遠野市	水生生物調査	宮守川
93	7月15日	高橋 良和	19	雫石市立御明神小学校	小学校	雫石町	水生生物調査	雫石町立御明神小学校そばの 竜川河川敷
94	7月15日	千田 典文	11	一関市立猿沢小学校	小学校	一関市	水生生物調査による水質調査	猿沢川
95	7月15日	内田 尚宏	93	盛岡市立中野小学校	小学校	盛岡市	水の学習	盛岡市立中野小学校
96	7月15日	佐井 守	93	盛岡市立中野小学校	小学校	盛岡市	水の学習	盛岡市立中野小学校
97	7月15日	菊池 拓巳	93	盛岡市立中野小学校	小学校	盛岡市	水の学習	盛岡市立中野小学校
98	7月16日	櫻井 則彰	31	盛岡市文化振興事業団 都南公民館	公共施設	盛岡市	親子ホテル観察講座	盛岡市都南公民館～大ケ生
99	7月16日	花澤 淳	17	奥州市立羽田小学校	小学校	奥州市	奥州市環境学習事業(水生生物調査)	奥州市立羽田小学校
100	7月16日	若生 和江	9	花巻農業協同組合 女性部 笹間支部	その他	花巻市	SDGs研修会	花巻市北笹間 笹間・太田支店
101	7月18日	根子 英郎	24	とうわ野鳥の会	市民団体	花巻市	川の生き物を調べよう	東和町落合 毒沢川
102	7月19日	高橋 良和	15	盛岡ベットワールド専門学校	専門学校	盛岡市	自然と生き物の繋がりを調査	盛岡ベットワールド専門学校
103	7月19日	菊池 拓巳	9	八幡平市立田山小学校	小学校	八幡平市	総合的な学習の時間	米白川河川公園
104	7月19日	前田 しずか	15	老松みどりの郷協議会	公共施設	一関市	老松地区子ども教室 藤田川の水生物調査	一関市老松市民センター
105	7月19日	川田 昌代	15	老松みどりの郷協議会	公共施設	一関市	老松地区子ども教室 藤田川の水生物調査	一関市老松市民センター
106	7月20日	櫻井 則彰	29	盛岡市文化振興事業団 都南公民館	公共施設	盛岡市	親子ホテル観察講座	盛岡市都南公民館～大ケ生
107	7月20日	小赤澤 直子	8	一関市小梨市民センター	公共施設	一関市	令和3年せんやま里山塾 リフォームコース(古着の有 効活用リメイク教室)	一関市小梨市民センター
108	7月21日	櫻井 則彰	24	盛岡市乙部地区公民館	公共施設	盛岡市	親子ホテル観察会	盛岡市都南公民館～大ケ生
109	7月23日	泉山 博直	10	田野畑村教育委員会	市町村	田野畑村	令和3年度新たなのはた21世紀学園 たのはたっ子わんぱくランド「川あそび」	農村環境改良センターの前の 川
110	7月24日	吉田 偉峰	36	一戸町立図書館	公共施設	一戸町	地域おこし事業 第15回親子deサイエンス図書館 星 空(ソラ)はとってもおもしろい!～望遠鏡で遊ぼう! ～	一戸町コミュニティセンター
111	7月25日	内田 尚宏	40	ボーイスカウト盛岡5団カブ隊	その他	盛岡市	水生生物調査	盛岡城跡公園(中津川)
112	7月25日	菊池 拓巳	40	ボーイスカウト盛岡5団カブ隊	その他	盛岡市	水生生物調査	盛岡城跡公園(中津川)
113	7月25日	高橋 良和	60	畑地区農地水資源保全組合	自治会	八幡平市	地域の川にふれよう	鴨田川
114	7月25日	平元 尚人	60	畑地区農地水資源保全組合	自治会	八幡平市	地域の川にふれよう	鴨田川
115	7月25日	高橋 良和	60	畑地区農地水資源保全組合	自治会	八幡平市	地域の川にふれよう	鴨田川
116	7月25日	平元 尚人	60	畑地区農地水資源保全組合	自治会	八幡平市	地域の川にふれよう	鴨田川
117	7月28日	小沢 宗	18	奥州市市民環境部生活環境課(江刺第一 中学校)	中学校	奥州市	奥州市環境学習事業(水生生物調査)	奥州市立江刺第一中学校
118	7月29日	吉田 偉峰	31	岩手県立陸中海岸青少年の家	公共施設	山田町	令和3年度マリランド陸中自然体験塾① 海の子野 外教室	岩手県立陸中海岸青少年の家
119	7月29日	藤原 正	12	黒岩自治振興会	市民団体	北上市	少年少女学級 白山わい・わい塾 「水辺の生物調査」	親水公園「お滝さん」
120	7月30日	吉田 偉峰	27	岩手県立野外活動センター	公共施設	陸前高田市	ドラマチック海遊塾	岩手県立野外活動センター
121	8月2日	佐井 守	12	遠野市立遠野小学校	小学校	遠野市	水生生物調査	遠野市立遠野小学校
122	8月2日	小沢 宗	29	奥州市立水沢中学校	中学校	奥州市	奥州市環境学習事業(水生生物調査)	奥州市立水沢中学校
123	8月2日	川田 昌代	29	奥州市立水沢中学校	中学校	奥州市	奥州市環境学習事業(水生生物調査)	奥州市立水沢中学校
124	8月3日	千田 典文	18	山目地区まちづくり協議会	市民団体	一関市	山目市民センター少年事業「わくわくぼうけんじゃー」	いちのせき健康の森 (山目市 民センターより市のバスで移 動)
125	8月3日	花澤 淳	22	奥州市立水沢南中学校	中学校	奥州市	奥州市環境学習事業(水生生物調査)	奥州市立水沢南中学校
126	8月4日	千田 典文	19	一関学習交流館	公共施設	一関市	放課後子ども教室推進事業『あこぎ子ども広場』夏 休み特別プログラム沢登り体験	真湯温泉付近の沢 いちのせき健康の森
127	8月5日	千田 典文	28	涌津まちづくり協議会	自治会	一関市	放課後子ども教室・学びの土曜塾「自然探検と沢遊 び」	いちのせき健康の森
128	8月5日	川田 昌代	16	かざわっこクラブ	公共施設	一関市	水生生物調査	金沢市民センター
129	8月5日	前田 しずか	16	かざわっこクラブ	公共施設	一関市	水生生物調査	金沢市民センター
130	8月5日	木幡 英雄	44	盛岡市環境部環境企画課	市町村	盛岡市	盛岡市環境学習講座	盛岡市外山森林公園
131	8月7日	粒針 文子	10	高齢者と家族の防災を考える会	市民団体	盛岡市	岩手の環境問題と対策について学ぶ	ブラザおでって
132	8月8日	佐藤 良平	87	KMYプロジェクト実行委員会	市民団体	一関市	リバースクール狐禅寺第1弾「川遊びまつりin滝沢川」	一関市狐禅寺市民センター周 辺 滝沢川
133	8月9日	粒針 文子	11	市民生活研究会	市民団体	盛岡市	水の循環を考える～プラスチック問題とお洗濯～	ブラザおでって
134	9月25日	吉田 偉峰	15	岩手県立野外活動センター	公共施設	陸前高田市	令和3年度岩手県立野外活動センター主催事業「野活 キッズクラブ」	岩手県立野外活動センター
135	9月29日	小赤澤 直子	33	大更コミュニティセンター	公共施設	八幡平市	大更婦人学級 第3講座 講和「もったいないリメイク」	大更コミュニティセンター
136	9月29日	千田 典文	13	平泉町立長島小学校	小学校	一関市	水生生物調査による水質調査	平泉町 太田川
137	9月29日	大友 晃	15	岩手県立県北青少年の家	公共施設	二戸市	「レッツ！トレッキング②」	松川温泉登山口

No.	実施月日	アドバイザー	参加人数	主催者	区分	地域	研修会等名	派遣先
138	10月2日	川邊 弥生	8	一関市民センター	公共施設	一関市	清庵学び塾	一関市 蘭梅山
139	10月2日	千田 典文	24	骨寺村ガイダンス運営協議会	公共施設	一関市	須川と本寺の自然観察	骨寺村荘園交流館
140	10月5日	川田 昌代	20	胆沢平野土地改良区	公共施設	奥州市	奥州市若柳小学校	円筒分水アクアパーク
141	10月7日	小赤澤 直子	10	リメイクサークル	市民団体	雫石町	着物リメイク講座①	雫石町 御所公民館
142	10月8日	吉田 偉峰	23	田野畑村教育委員会	市町村	田野畑村	令和3年度新たなのはた21世紀学園趣味・教養講座「ベルセウス座流星群観察会」	北山崎ビジターセンター
143	10月8日	小赤澤 直子	5	特定非営利活動法人紫波みらい研究所	NPO	紫波町	着物リメイク教室③	日詰6区公民館「ヒノヤサロン鈴の音」
144	10月9日	吉田 偉峰	23	国立岩手山青少年交流の家	公共施設	滝沢市	テンパーク子ども食堂	国立岩手山青少年交流の家
145	10月10日	粒針 文子	8	紫根の会	市民団体	盛岡市	岩手の豊かな自然を育み、こころとからだの健康を守る勉強会①	ブラザおでって
146	10月13日	大友 晃	23	岩手県立県南青少年の家	公共施設	金ヶ崎町	大人ワンダークラブ	奥羽山脈系栗駒山
147	10月13日	小赤澤 直子	7	ぼっぼの会	市民団体	久慈市	着物リメイク教室	久慈市長内市民センター
148	10月14日	内田 尚宏	110	岩手大学教育学部附属小学校	小学校	盛岡市	総合的な学習の時間「わたしたちの中津川」	中津川の川原
149	10月14日	佐井 守	110	岩手大学教育学部附属小学校	小学校	盛岡市	総合的な学習の時間「わたしたちの中津川」	中津川の川原
150	10月14日	菊池 拓巳	110	岩手大学教育学部附属小学校	小学校	盛岡市	総合的な学習の時間「わたしたちの中津川」	中津川の川原
151	10月14日	小赤澤 直子	10	リメイクサークル	市民団体	雫石町	着物リメイク講座②	雫石町 御所公民館
152	10月16日	吉田 偉峰	15	特定非営利活動法人いちのへ文化・芸術NPO	NPO	一戸町	縄文体感プログラム「縄文の星空を体験しよう」	御所野縄文公園
153	10月20日	小赤澤 直子	7	ぼっぼの会	市民団体	久慈市	着物リメイク教室	久慈市長内市民センター
154	10月21日	小赤澤 直子	10	リメイクサークル	市民団体	雫石町	着物リメイク講座③	雫石町 御所公民館
155	10月21日	中野 雅幸	19	洋野町立帯島小学校	小学校	洋野町	海と森のつながり環境を学ぶ	帯島小学校～(種市海浜公園・洋野町原子内漁港)
156	10月23日	大友 晃	15	滝沢市教育委員会事務局生涯学習スポーツ課	市町村	滝沢市	たきざわ自然体験セミナー「岩手山麓の森(馬返し～相の沢)の森	岩手山麓(馬返し～相の沢)の森
157	10月23日	吉田 偉峰	31	久慈市立図書館	公共施設	久慈市	ライブラリーサイエンス☆カフェ	久慈市情報交流センター
158	10月23日	川田 昌代	12	赤生津地域活性化協議会	自治会	奥州市	赤生津のゲンジボタルが生息する沢の「水生生物調査」	「赤生津分館」及び同地内長根沢
159	10月24日	吉田 偉峰	22	久慈市立図書館	公共施設	久慈市	ライブラリーサイエンス☆カフェ	久慈市情報交流センター
160	10月24日	佐藤 良平	100	KMYプロジェクト実行委員会	自治会	一関市	リバースクール狐禅寺第2弾「川遊びまつりin滝沢川」	一関市狐禅寺市民センター周辺 滝沢川
161	10月24日	柳谷 信吾	24	特定非営利活動法人 居場所創造プロジェクト	NPO	大船渡市	「秋の夜空観察会」	多世代交流館 居場所ハウス
162	11月5日	吉田 偉峰	15	新里生涯学習センター	公共施設	宮古市	にいさとの星空観察会	新里地区内
163	11月5日	佐井 守	102	盛岡市立山岸小学校	小学校	盛岡市	中津川探検	盛岡市立山岸小学校 および中津川河川敷
164	11月5日	菊池 拓巳	102	盛岡市立山岸小学校	小学校	盛岡市	中津川探検	盛岡市立山岸小学校 および中津川河川敷
165	11月5日	内田 尚宏	102	盛岡市立山岸小学校	小学校	盛岡市	中津川探検	盛岡市立山岸小学校 および中津川河川敷
166	11月12日	小赤澤 直子	4	特定非営利活動法人紫波みらい研究所	NPO	紫波町	着物リメイク教室①	日詰6区公民館「ヒノヤサロン鈴の音」
167	11月14日	川田 昌代	15	赤生津地域活性化協議会	市民団体	奥州市	秋の里山“経塚・月山”の魅力を体験しながら学ぶもの(今回のテーマ:里山の鳥たちの観察と解説	「月山憩いの広場」
168	11月17日	菊池 統一	39	いわて県北クリーン株式会社	その他	九戸村	EA21の環境活動に関する教育	いわて県北クリーン株式会社会議室
169	11月19日	柳谷 信吾	11	一般社団法人大船渡市観光物産協会	NPO	大船渡市	碁石海岸で月食観察会	碁石海岸インフォメーションセンター
170	11月19日	吉田 偉峰	25	奥中山高原株式会社	その他	一戸町	奥中山高原 Star☆Night 部分月食観察会 2021	奥中山高原 煌星の湯
171	11月20日	吉田 偉峰	30	安渡町内会	自治会	大槌町	安渡町内会 星空観察会	大槌町文化交流センター近傍 駐車場(旧役場庁舎跡地)
172	11月22日	粒針 文子	9	紫根の会	市民団体	盛岡市	岩手の豊かな自然を育み、こころとからだの健康を守る勉強会②	ブラザおでって
173	11月25日	内田 尚宏	95	岩手大学教育学部付属小学校	小学校	盛岡市	小学校第3学年 総合的な学習の時間	岩手大学教育学部付属小学校 若竹ホール
174	11月26日	吉田 偉峰	17	岩手県立野外活動センター	その他	陸前高田市	令和3年度岩手県立野外活動センター職員研修「天体望遠鏡の操作の仕方・星空観察会実施における留意点・雨天時のプログラムについて」	岩手県立野外活動センター
175	12月4日	吉田 偉峰	15	宮古市教育委員会事務局 生涯学習課	市町村	宮古市	わんぱく自然教室《復刻版》星空観察会	旧宮古市立亀岳小学校
176	12月6日	吉田 偉峰	12	地域課題研究会	市民団体	盛岡市	岩山地域 みんなで「防災・環境」体験会 実行委員研修会	加賀野児童公園
177	12月10日	小赤澤 直子	4	特定非営利活動法人紫波みらい研究所	NPO	紫波町	着物リメイク教室②	日詰6区公民館「ヒノヤサロン鈴の音」
178	12月11日	川村 晃寛	36	盛岡市環境部環境企画課	市町村	盛岡市	盛岡市環境学習講座「ミニチュア枯山水作り！」	高松地区保健センター
179	12月11日	吉田 偉峰	51	県南青少年の家	公共施設	金ヶ崎町	県南青少年の家主催事業「かるがも親子のクリスマス」	岩手県立県南青少年の家
180	12月12日	粒針 文子	9	紫根の会	市民団体	盛岡市	岩手の豊かな自然を育み、こころとからだの健康を守る勉強会③	ブラザおでって
181	12月18日	吉田 偉峰	16	民泊halcoya	その他	雫石町	星空観察会	民泊halcoya
182	12月18日	川村 晃寛	18	いわいずみこどもエコクラブ	市民団体	岩泉町	エコクラブの月例活動	岩泉町民会館会館
183	12月19日	吉田 偉峰	17	奥州宇宙遊学館	公共施設	奥州市	サイエンスカフェ page.60	奥州宇宙遊学館

No.	実施月日	アドバイザー	参加人数	主催者	区分	地域	研修会等名	派遣先
184	12月24日	川村 晃寛	6	盛岡市乙部地区公民館	公共施設	盛岡市	乙部地区公民館講座「正月用お飾り作製教室(仮)」	乙部地区公民館
185	12月25日	吉田 偉峰	10	奥中山高原株式会社	企業	一戸町	奥中山高原星空観察会2021 クリスマススペシャル	奥中山高原スキー場
186	1月3日	櫻井 則彰	10	喫茶GEN・KI	企業	盛岡市	生態家の保全と地球温暖化、私たちができることを考える	岩山展望台付近と喫茶GEN・KI
187	1月7日	川村 晃寛	7	盛岡市教育委員会飯岡地区公民館	市町村	盛岡市	はこ庭作りからのSDGsってなに？	飯岡地区公民館
188	1月10日	粒針 文子	11	みんなの防災 友の会	市民団体	盛岡市	SDGsってなんだべか？ ～自らが取り残されない地域をつくろう～	ブラザおでって
189	1月16日	粒針 文子	12	みんなの防災 友の会	市民団体	盛岡市	気候が変わると何が困るんだべ？	ブラザおでって
190	1月23日	本田 サト子	10	特定非営利活動法人 おはなしころりん	NPO	大船渡市	手づくりマスク&つんぬぎ(画面はんてん)裁縫教室	大船渡市防災観光交流センターおおふなぼーと
191	1月23日	若生 和江	11	花巻農協上宮守第一農家組合	その他	花巻市	SDGsの取り組みについて	JAIわて花巻グリーンホーム 落合 落合温泉
192	1月28日	吉田 偉峰	8	カシオペア星空連盟 一戸支部	市民団体	一戸町	カシオペア星空連盟 2022年1月 冬季星空観望会	奥中山高原
193	2月3日	櫻井 則彰	434	第一生命保険株式会社	企業	盛岡市	環境取組社員教育	第一生命盛岡支社6階会議室
194	2月4日	吉田 偉峰	10	奥中山高原 Snow Star Night2021-2022 実行委員会	市民団体	一戸町	奥中山高原 Snow Star Night2021-2022	奥中山高原スキー場
195	2月5日	若生 和江	15	笑いのたねプロジェクト	市民団体	奥州市	人と食を考えるエコクッキング講座	ワラタネスクエア
196	2月5日	本多 サト子	9	特定非営利活動法人 おはなしころりん	NPO	大船渡市	手づくりマスク&つんぬぎ(画面はんてん)裁縫教室	大船渡市防災観光交流センターおおふなぼーと
197	2月6日	川邊 弥生	19	北上市地域婦人団体協議会和賀支部	市民団体	北上市	和賀支部新春交流会	和賀町総合福祉センター
198	2月7日	粒針 文子	10	みんなの防災 友の会	市民団体	盛岡市	高齢者が取り残されない社会をつくろう 「何をしたらいいんだべ？」	ブラザおでって
199	2月11日	吉田 偉峰	48	岩手県立県北青少年の家	公共施設	二戸市	プラネタリウム鑑賞デー③	岩手県立県北青少年の家
200	2月13日	川邊 弥生	17	北上市地域婦人団体協議会 北上支部	市民団体	北上市	市婦協北上支部 交流研修会	北上市総合福祉センター
201	2月14日	若生 和江	10	奥州市市民環境部生活環境課 協和学院水沢第一高等学校	高校	奥州市	奥州市環境学習事業「SDGsに関する学習会」	協和学院水沢第一高等学校
202	2月14日	花澤 淳	10	奥州市市民環境部生活環境課 協和学院水沢第一高等学校	高校	奥州市	奥州市環境学習事業「SDGsに関する学習会」	協和学院水沢第一高等学校
203	2月18日	吉田 偉峰	10	奥中山高原 Snow Star Night2021-2022 実行委員会	市民団体	一戸町	奥中山高原 Snow Star Night2021-2022	奥中山高原スキー場
204	2月23日	森 敦子	30	喫茶GEN・KI	企業	盛岡市	こどもエコクラブサポーターズミーティング・冬の盛岡市動物公園Live中継	盛岡市動物公園・喫茶GEN・KI と環境学習交流センター(中継)
205	3月4日	吉田 偉峰	12	カシオペア星空連盟 一戸支部	市民団体	一戸町	カシオペア星空連盟 2022年2月 冬季星空観望会	奥中山高原
206	3月12日	川邊 弥生	14	一関市立川崎図書館	公共施設	一関市	はじめようエコライフ～わたしたちもできるSDGs～(仮)	川崎市民センター
207	3月13日	粒針 文子	10	岩手の手仕事を紡ぐ会	市民団体	盛岡市	岩手の手仕事を守りつなぐために、自然と環境について学ぼう①	岩手県民会館
208	3月19日	吉田 偉峰	10	奥中山高原 Snow Star Night2021-2022 実行委員会	市民団体	一戸町	奥中山高原 Snow Star Night2021-2022	奥中山高原スキー場
209	3月21日	櫻井 則彰	8	喫茶GEN・KI	その他	盛岡市	生態の保全と農業、地球温暖化、私たちができることを考える	喫茶GEN・Ki
210	3月21日	高橋 良和	8	喫茶GEN・KI	その他	盛岡市	生態の保全と農業、地球温暖化、私たちができることを考える	喫茶GEN・Ki
211	3月25日	森 敦子	30	山岸学童クラブ	児童館	盛岡市	自然学習会	山岸学童クラブ又はその周辺
212	3月26日	吉田 偉峰	10	カシオペア星空連盟 一戸支部	市民団体	一戸町	カシオペア星空連盟 2022年2月 冬季星空観望会	奥中山高原
213	3月26日	石塚 勇太	3	杜を知る～自然観察と二次林について	市民団体	雫石町	IT'sの杜プロジェクト	滝沢市の森林、セツ森地域交流センター
214	3月27日	櫻井 則彰	3	喫茶GEN・KI	その他	盛岡市	生態の保全と農業、地球温暖化、私たちができることを考える	喫茶GEN・KI
215	3月27日	高橋 良和	30	喫茶GEN・KI	その他	盛岡市	生態の保全と農業、地球温暖化、私たちができることを考える	喫茶GEN・KI
216	3月27日	川田 昌代	30	公益財団法人盛岡市都南自治振興公社	その他	盛岡市	あかばやし探検隊	盛岡市都南つどいの森
217	3月27日	若生 和江	30	公益財団法人盛岡市都南自治振興公社	その他	盛岡市	あかばやし探検隊	盛岡市都南つどいの森
218	3月28日	粒針 文子	11	岩手の手仕事を紡ぐ会	市民団体	盛岡市	岩手の手仕事を守りつなぐために、自然と環境について学ぼう②	岩手県民会館
219	3月29日	藤原 由美子	9	根浜シーサイドオフィス	企業	釜石市	ミツバチと養蜂勉強会	根浜シーサイドオフィス
220	3月29日	若生 和江	17	三田塾	市民団体	奥州市	もったいないごはん	水沢南地区センター調理実習室
221	3月30日	大友 晃	3	岩手県立陸中海岸青少年の家	公共施設	山田町	令和4年度陸中海岸青少年の家自主事業 ワンダーフルネイチャー①鯨山登山 下見	岩手県立陸中海岸青少年の家

●エコカーゴによる出張環境学習会

環境学習広報車『エコカーゴ』に環境学習キット等を積んで、県内のイベント・地域の学習会等に出張しています。

09

番号	1	イベント名等	岩手大学教育学部梶原研究室SDGs勉強会
		主催団体	岩手大学教育学部梶原研究室
		日時	令和3年5月13日(木)15:00～16:15
		場所	岩手大学教育学部2号館4階会議室
		参加者数	学生6名 教授 合計7名
		スタッフ	齊藤 富美子
内容	テーマ:SDGs・カードゲーム「クロス」体験 内容 ・SDGs概要説明 ・ゴール14海の豊かさを守ろうとは ・カードゲーム体験		
番号	2	イベント名等	総合的な探求の時間「宮校ゼミⅡ」SDGs講演会
		主催団体	岩手県立宮古高等学校3学年
		日時	令和3年5月17日(月)13:50～15:35
		場所	岩手県立宮古高等学校3学年A～E各教室
		参加者数	第3学年生徒148名、各クラス担任、副担任10名 合計158名
		スタッフ	森一夫、櫻井則彰、齊藤富美子、坂下慶夏
内容	テーマ:SDGs概要&THE SDGs アクションカードゲーム「X」体験 内容: ・SDGsの概要今世界がどんな状況にあるのか ・SDGs17ゴールの関連、SDGsの主要な課題とは何か?あらかじめ作成した映像を見てもらう。 ・カードゲームの説明とカードゲーム体験&各グループごとの発表		
番号	3	イベント名等	第2次奥州市総合計画後期計画策定にかかる庁内ワーキング会議「SDGsの概要・カードゲームを活用したワークショップ」
		主催団体	奥州市総務企画部政策企画課
		日時	令和3年5月28日(金)14:40～15:50
		場所	奥州市役所3階 講堂
		参加者数	奥州市役所職員40名 事務局6名 合計46名
		スタッフ	櫻井 則彰、齊藤 富美子
内容	テーマ:SDGs 内容 ・SDGsの概要 ・THE SDGsアクションカードゲームX体験		

番号	4	イベント名等	環境月間事業『釜石自然・生活環境展』
	主催団体	釜石市役所 市民生活部生活環境展	
	日時	令和3年6月5日(土)10:00～16:00	
	場所	釜石市民ホールTETTOホール前広場	
	参加者数	50名	
	スタッフ	齊藤 富美子・櫻井 則彰	
	内容	テーマ:地球温暖化・エネルギー・自然 内容 ・温暖化パネル展示・資料提供 ・木の実の工作体験コーナー・発電体験コーナー設置	

番号	5	イベント名等	令和3年度岩手県高等学校教育研究会家庭部会 中央支部 第1回研修会
	主催団体	岩手県高等学校教育研究会家庭部会 中央支部	
	日時	令和3年6月11日(金)14:00～15:00	
	場所	遠野みらい創りカレッジ 2B教室	
	参加者数	14名	
	スタッフ	丸尾 美由紀・森 一夫	
内容	テーマ:SDGsについて理解を深める、SDGsについて生徒の活動での生かし方を考える 内容: ・SDGsについて(解説) ・SDGsに関する岩手県内の事例紹介(自治体、企業、みらい創りカレッジ、センター等) ・SDGsの取組について検討・意見交換		

番号	6	イベント名等	二戸市立御返地小学校エネルギー出前講座
	主催団体	二戸市立御返地小学校・東北電力岩手支店	
	日時	令和3年6月14日(月)10:40～12:10	
	場所	二戸市立御返地小学校	
	参加者数	生徒15名(4～6年生)+教師2名	
	スタッフ	櫻井 則彰	
	内容	テーマ:東北電力株式会社岩手支店が小学生を対象に実施するエネルギーチャレンジ校・エネルギー出前講座と協働し省エネ・節電について出張環境学習会を実施。 内容: ・省エネ・節電、エネルギー自給率、発電体験など	

番号	7	イベント名等	「私たちのSDGs 『GREEN 大作戦』」
		主催団体	奥州市立水沢南中学校
		日時	令和3年6月16日(水)14:35～15:25
		場所	水沢南中学校体育館
		参加者数	第2学年生徒175名 教諭10名
		スタッフ	齊藤 富美子
内容	テーマ:SDGs 13気候変動に具体的な対策を 内容 ・SDGsの概要 ・ウェディングケーキモデルにおける環境、社会、経済の階層の意味 ・モニタリングによる日本の課題 ・13気候変動に具体的な対策をについて ・世界・日本・岩手県の取り組み紹介目的達成のためのバックカスティング、目的達成シート(大谷翔平君)紹介。		
番号	8	イベント名等	環境講座「住みやすいは棲みやすい?～SDGs・生物多様性とビオトープ～」
		主催団体	盛岡市河南公民館
		日時	令和3年6月25日(金)10:00～12:15
		場所	河南公民館～中津川河川敷(中の橋～上の橋)
		参加者数	5名+公民館職員5人
		スタッフ	野澤 日出夫、櫻井 則彰
内容	テーマ:SDGs・生物多様性とビオトープ 中津川を「ビオトープ」として観察し、私たちの暮らしの近くにある自然に目を向け、郷土の自然を守る、より良くするためにはどうすればよいか考えるきっかけ作りの機会とした。 内容: ・講演と現地見学会		
番号	9	イベント名等	SDGs学習会
		主催団体	NPO法人古舘まちづくりの会
		日時	令和3年7月2日(金)16:00～16:40
		場所	古舘公民館ふれあいホール
		参加者数	児童14名 スタッフ6名 合計20名
		スタッフ	齊藤 富美子・森 一夫
内容	テーマ:SDGsについて 内容: ・SDGsの概要 ・THE SDGs アクションカードゲーム「クロス」		

番号	10	イベント名等	地球温暖化について学ぼう！
		主催団体	大慈寺小学校
		日時	令和3年7月12日(月)13:45～14:30
		場所	大慈寺小学校みつわりホール
		参加者数	4年生児童27名 教諭2名 校長先生 合計30名
		スタッフ	齊藤 富美子
		テーマ:地球温暖化とSDGs・エネルギー 内容: ・地球温暖化とSDGs ・防ごう隊について説明 ・エコチェックアンケート ・ハチドリのとしずく ・比較発電体験	
番号	11	イベント名等	SDGs:私たちができる取り組み
		主催団体	岩手県高等学校家庭クラブ連盟指導者養成講座
		日時	令和3年7月15日(木) 14:40～15:40
		場所	岩手県立生涯学習推進センター講堂
		参加者数	岩手県内高校生79名 顧問31名 合計110名
		スタッフ	櫻井 則彰、齊藤 富美子
		テーマ:SDGs:私たちができる取り組み 内容: ・SDGsの概要と・今私たちができる取り組みの講話	
番号	12	イベント名等	～ジュニア体験広場「こどもSDGs 紙すき体験」
		主催団体	宮古市田老公民館
		日時	令和3年7月29日(木)14:00～16:00
		場所	宮古市田老公民館
		参加者数	児童16名 公民館スタッフ4名 合計20名
		スタッフ	齊藤 富美子・櫻井 則彰・大石 光子
		テーマ:SDGs・リサイクル 内容 SDGsの概要説明 ・リサイクルについてクイズ形式で理解を深めた後紙すき体験を実施。	

番号	13	イベント名等	令和3年度市民活動支援講座「SDGs講座」
	主催団体	奥州市まちづくり部 地域づくり推進課	
	日時	令和3年7月31日(土)14:00～16:00	
	場所	江刺生涯学習センター	
	参加者数	13名	
	スタッフ	齊藤 富美子・櫻井 則彰	
内容	テーマ:SDGs 内容 ・SDGsの概要 PPTにて概要・ウミガメの映像を見せ、海のプラスチック問題について説明。 ・THE SDGsアクションカードゲーム「X」クロス カードゲームの概要説明、トレードオフとは、リソースについて説明。 様々な視点、新たなアイデアの創出と楽しくSDGsを楽しく学ぶを実践した。 最後には4グループ課題解決のアイデアを発表した。 ・「地域の課題・わたしのリソース(資源)」を考えよう グループごとに課題と課題解決のために必要なリソースを書き出し、グループごとに発表を行った。		

番号	14	イベント名等	夏休み☆エコ体験教室
	主催団体	一関市生活環境課	
	日時	令和3年8月1日(日)10:00～12:00	
	場所	一関市役所2階大会議室	
	参加者数	親子15組31名 一関市職員3名 合計34名	
	スタッフ	齊藤 富美子・櫻井 則彰	
内容	テーマ:SDGs・温暖化・エネルギー・ごみ・リサイクル 内容 ・SDGsってななに SDGs未来都市一関 ・環境紙芝居「地球が大変だー」 ・発電体験・もてるかな? ・新聞バッグづくり ・振り返り・エコチェックアンケート		

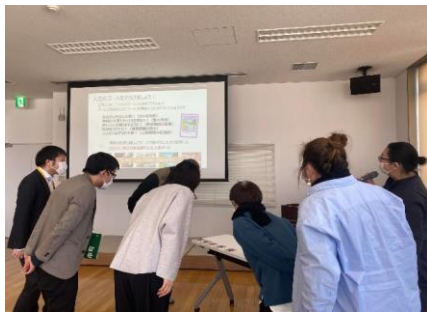
番号	15	イベント名等	夏休み学習会「SDGs」
	主催団体	仁王児童センター	
	日時	令和3年8月5日(木)10:00～12:00	
	場所	仁王児童センター ホール図書室集会室	
	参加者数	児童28名 スタッフ4名 合計32名	
	スタッフ	田近 志保子・大石 光子	
内容	テーマ:SDGs 内容 ・SDGsの簡単な説明 ・環境紙芝居「地球がたいへんだ〜!」の読み聞かせ ・木の実や松ぼっくりを使った木工工作 ・リサイクル封筒バック作り		

番号	16	イベント名等	夏休み「川の楽校」
		主催団体	一関市川崎市民センター
		日時	令和3年8月6日(金)10:00～12:00
		場所	一関市川崎市民センター
		参加者数	川崎在住小中高16名、市民センター3名、川崎町協議会会長 合計20名
		スタッフ	齊藤 富美子・櫻井 則彰
		内容	テーマ:SDGs・クロス体験 内容 ・SDGsってなあに?SDGs未来都市一関について ・The Actionカードゲーム「X」クロス ・発電体験 ・振り返り、エコチェックアンケート
番号	17	イベント名等	2021東北電力エネルギーチャレンジ校・エネルギー出前講座
		主催団体	雫石町立西山小学校/東北電力岩手支店
		日時	令和3年9月21日(火)10:40～12:10
		場所	雫石町立西山小学校
		参加者数	20名
		スタッフ	櫻井 則彰
		内容	テーマ:省エネ・節電 東北電力株式会社岩手支店が小学生を対象に実施するエネルギーチャレンジ校・エネルギー出前講座と協働し省エネ・節電について出張環境学習会を実施。 内容 ・省エネ・節電、エネルギー自給率、発電体験など
番号	18	イベント名等	盛岡まるごと学びの場プロジェクト
		主催団体	第2学年生徒175名 教諭10名
		日時	令和3年10月20日(水)13:35～15:25
		場所	盛岡市立高校
		参加者数	29名
		スタッフ	渋谷 晃太郎、櫻井 則彰
		内容	テーマ:SDGs13・14・15 内容 ・盛岡市立高校の希望はSDGsNo13気候変動に具体的な対策を、No14海の豊かさを守ろう、No15陸の豊かさを守ろうの3項目。動画を中心のPPTで、人間活動が温室効果ガスを出し、環境が変化している、今後の対応をどうするか(若者が中心となり社会を変革する必要があること、脱炭素に向け社会全体が大きく舵を切ろうとしていることなど)を説明した。

番号	19	イベント名等	第1回 北いわてSDGs mirai カフェ
		主催団体	一戸町
		日時	令和3年10月23日(土)13:00～16:00
		場所	御所野縄文博物館会議室
		参加者数	15名
		スタッフ	丸尾 美由紀・柴田 楓華
内容	テーマ:一戸の資源(リソース)を探そう! 内容 SDGs・地球温暖化に関する情報提供と、縄文里山カレンダーとSDGs・地域循環共生圏を結びつけて考えることで一戸町のリソースを発見する。 ・ワールドカフェ ・SDGsについてレクチャー ・「THE SDGs アクションカードゲーム X(クロス)」の実施		
番号	20	イベント名等	社会教育関係職員等研修会
		主催団体	一関市いきがづくり課
		日時	令和3年11月9日(火)13:30～16:00
		場所	花泉宿泊交流研修施設「花夢パル」ドリームホール
		参加者数	28名
		スタッフ	齊藤 富美子・櫻井 則彰
内容	テーマ:SDGs 内容 ・SDGs概要 ・THE SDGs アクションカードゲーム X(クロス) ・地域の資源と課題を考えるワークショップ		
番号	21	イベント名等	浄土ヶ浜ビジターセンターふれあいイベント「SDGsを学ぼう！」
		主催団体	浄土ヶ浜ビジターセンター
		日時	令和3年11月27日(土)10:00～12:00
		場所	浄土ヶ浜ビジターセンター
		参加者数	6名
		スタッフ	齊藤 富美子・櫻井 則彰・坂下 慶夏
内容	テーマ:SDGs 内容 ・SDGs絵本読み聞かせ「わたしがかわるみらいもかわる」 ・環境紙芝居読み聞かせ「うみからのあかしんごう」 ・SDGsすごろく体験4種紹介うち2種体験 ・SDGsなぜなにクイズラリー□ ・振り返り(答え合わせ・エコチェックアンケート)□		

番号	22	イベント名等	第1回やはばSDGsカフェ
	主催団体		矢巾町
	日時		令和3年11月28日(日)9:30～11:30
	場所		やはばーく 大研修室
	参加者数		17名
	スタッフ		丸尾 美由紀
内容	テーマ:①楽しく学ぶ SDGs入門 ②身近でできる SDGs を考えよう ③SDGs でまちを良くするアイデアを考えよう(3回連続のうち第1回) 内容 SDGs・地球温暖化に関する情報提供と、SDGs・地域循環共生圏を結びつけて考えることで矢巾町のリソースを発見する。 ・ワールドカフェ(自己紹介・交流) ・SDGsについてレクチャー ・「THE SDGs アクションカードゲーム X(クロス)」の実施		
番号	23	イベント名等	第2回北いわてSDGs mirai カフェ
	主催団体		一戸町
	日時		令和3年12月4日(土)9:30～12:00
	場所		御所野縄文博物館会議室・公園
	参加者数		20名
	スタッフ		丸尾 美由紀・柴田 楓華
内容	テーマ:縄文文化×SDGs 内容 一戸町のリソースを発見する ・遺跡・展示室内で縄文リソースを探そう! - SDGs、縄文里山文化、縄文土器に関するレクチャー - 遺跡や展示室で関心のあることやSDGsに関連していると考えられる「縄文クエスト」を実施。 ・縄文SDGsマンダラを探そう - 縄文クエストで見つけたリソースを、地域循環共生圏マンダラへマッピング。 - 一戸町オリジナルの縄文SDGsマンダラを作成するプロセスを体験する。		
番号	24	イベント名等	ユネスコSDGsセミナー
	主催団体		一戸ユネスコ協会
	日時		令和3年12月5日(土)13:30～15:00
	場所		一戸町コミュニティセンター会議室
	参加者数		17名
	スタッフ		丸尾 美由紀
内容	テーマ:「SDGsへの理解を深める」 内容:「SDGsへの理解を深める」と題し、講義 ・SDGsとは? ・岩手県内の計画(環境基本計画・第2次岩手県地球温暖化対策実行計画) ・SDGsの学び ・北いわてSDGs mirai カフェ ・環境学習交流センター・岩手県地球温暖化防止活動推進センターの説明		

番号	25	イベント名等	小正月行事
	主催団体	前沢地区連合振興会	
	日時	令和4年1月6日(木)9:00～11:30	
	場所	前沢地区センター	
	参加者数	小学生14名 センター職員4名 合計18名	
	スタッフ	齊藤 富美子・櫻井 則彰	
内容	テーマ:地球温暖化・再生可能エネルギー 内容 ・推進員のお話 ・LEDエコランタンづくり ・比較発電体験 ・ミズキ団子飾り付け・餅巻き等		
番号	26	イベント名等	第2回 やはばSDGsカフェ
	主催団体	矢巾町	
	日時	令和4年1月9日(日)9:30～11:30	
	場所	やはばーく 大研修室	
	参加者数	11名	
	スタッフ	丸尾 美由紀・坂下 慶夏	
内容	テーマ:②身近でできる SDGs を考えよう(3回連続のうち第2回) 内容 SDGs・地球温暖化に関する情報提供と、SDGs取組後の10年後の暮らしをSDGs・地域循環共生圏を結びつけて考える。 ・自己紹介(参加者同士の交流) ・SDGsについて(バックキャスト視点、トレードオフについて) ・カードゲームクロス(考え方の型の練習) ・ワーク①あなたにとって、10年後の「幸せな世界」はどんな暮らしでしょうか？ ・ワーク②10年後の「幸せな世界」、その障害になるものがあるとするとそれは何ですか？ ・ワーク③身の回りのリソースを見つけよう！ ・今年から始めるSDGsの取り組み。初めの一步を踏み出すとしたら何をしますか？		

番号	27	イベント名等	第三回 やはばSDGsカフェ
	主催団体	矢巾町	
	日時	令和4年2月6日(日) 9:30～11:30	
	場所	やはばーく 大研修室	
	参加者数	11名	
	スタッフ	丸尾 美由紀・坂下 慶夏	
内容	テーマ:SDGs でまちを良くするアイデアを考えよう(3回連続のうち第三回) 内容: (1)自己紹介・交流(「SDGsに取り組んだ10年後、2032年の幸せな暮らしって?」をテーマに話していただく) (2)第一回、第二回のおさらい、SDGsについて解説 (3)SDGsカードゲーム体験 (4)グループ対話(SDGsに取り組むとしたら、最初の一步は?) (5)やはばSDGsプラットフォーム(仮)について・アンケート		
所感	【よかった点】 矢巾町で取り組んでいるフューチャーデザインの要素をカードゲームに取り入れ、「SDGsに取り組んだ10年後の幸せな世界」をイメージして取り組んでいただいた。 【反省点】 新型コロナウイルス感染防止の観点から、広く参加を呼び掛けることができなかった。		

番号	28	イベント名等	第三回 北いわてSDGs mirai カフェ
	主催団体	一戸町	
	日時	令和4年2月19日(土) 13:30～15:30	
	場所	一戸町コミュニティセンター	
	参加者数	27名	
	スタッフ	櫻井 則彰・丸尾 美由紀・柴田 楓華	
内容	SDGsに関心を持つ一戸町内のステークホルダー同士の交流を深め、一戸町のリソースを見える化する。 1.前回までのおさらい 2.SDGsについて 3.ワールドカフェ「一戸といえど?」 4.一戸町のSDGsの取組(鈴木副町長より) 5.10年後の一戸はどんな暮らし? 6.今から始めるSDGs		
所感	【よかった点】 ・鈴木副町長からプレゼンテーションいただき、一戸町のSDGsに関する取組を町民のみなさんにお知らせする機会となった。 ・高校生と地域の方々が対話・交流することができた。 【反省点】 ・会話がはずむテーブルとそうでないテーブルが混在していた。より交流を深めるための仕掛けが必要だった。		

●流域活動支援

10

「岩手県ふるさと森と川と海の保全及び創造に関する条例」に基づく流域基本計画により、取組を推進するためのネットワーク作りや活動のコーディネートや情報提供を行っています。

番号	1	イベント名等	根浜海岸再生活動
	主催・協力	釜石市立東中学校	
	日時	令和3年5月24日 13:30～15:20	
	場所	釜石市根浜海岸	
	参加者	釜石市立東中学校生徒96名	
	対応スタッフ	佐々木 明宏	
内容	海浜植物の再生のため2年生が主体となり、ポット苗の植替えやプランターに種をまく。		

番号	2	イベント名等	根浜海岸再生活動
	主催・協力	釜石市立東中学校	
	日時	令和3年6月9日 13:30～15:10	
	場所	釜石市根浜海岸	
	参加者	釜石市立東中学校生徒96名	
	対応スタッフ	佐々木 明宏	
内容	海浜植物の再生のため1,2年生が雑草抜き、3年生は海岸清掃とごみ分類を行う。		

番号	3	イベント名等	りぱ～るくんの郷づくりパートナー基礎研修及び現地研修
	主催・協力	盛岡広域流域協議会	
	日時	令和3年6月19日(土) 9:30～15:00	
	場所	岩手県立大学共通講義棟1階105講義室	
	参加者	一般参加者15名	
	対応スタッフ	櫻井 則彰	
内容	・生物多様性と希少種の取組、環境活動における安全対策、持続可能なチョウセンアカシジミの保護活動		

番号	4	イベント名等	根浜海岸再生活動
	主催・協力	釜石市立東中学校	
	日時	令和3年7月14日 13:30～15:10	
	場所	釜石市根浜海岸	
	参加者	釜石市立東中学校生徒1・2年生69名	
	対応スタッフ	櫻井 則彰	
内容	海浜植物の再生のため1・2年生が海岸清掃とごみ拾いを行う。		

番号	5	イベント名等	根浜海岸再生活動
	主催・協力	釜石市立東中学校	
	日時	令和3年10月27日 13:30～15:00	
	場所	釜石市根浜海岸	
	参加者	釜石市立東中学校生徒2年生40名	
	対応スタッフ	佐々木 明宏	
内容	海浜植物の再生のためハマエンドウ、ハマヒルガオの植栽。		

- 岩手県地球温暖化防止活動推進センター



●いわてわんこ節電所(<https://www.co2-diet.com/>)

11

「いわてわんこ節電所」とは、2050年温室効果ガス排出量実質ゼロにむけて、エネルギー消費の少ないライフスタイルへの転換を促進することを目的としたサイトです。

* 家庭のエコチェック

<https://www.co2-diet.com/home/>

普段の生活で取り組んだ省エネ行動によるCO₂削減量を、岩手県名物「わんこそば」の「わんこ」に見立てて積み重ねていく参加型の取組です。わんこが重なるほど、より多くのCO₂を減らせたということになります。

令和3年度実績

のべ参加者数 **11,242名**
家庭の二酸化炭素削減数 **428,235kg-CO₂**

電気に置き換えると、820,373kWh相当、212世帯分の年間電気使用量を削減。
達成度としては、レベル5「希望の空エリア」まで到達することができました。



* 地球温暖化について知る

<https://www.co2-diet.com/home/>

地球温暖化のメカニズムや二酸化炭素の排出状況や、気候変動への適応策や、身近な省エネ行動などについて紹介しています。

令和3年度は「再生可能エネルギー」ページを増設しました。(<https://www.co2-diet.com/saiene/page1.php>)

* 最新情報をチェック！

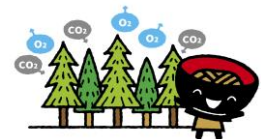
<https://www.co2-diet.com/topics/>

岩手県内外の温暖化に関する情報をお届けしています。

* ツール・ダウンロード

<https://www.co2-diet.com/tool/illust/>

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロに向けて、地球温暖化対策を推進する取組について広報する場合に活用いただけるキャラクター「エコわんこきょうだい」や、啓発ポスターなどがダウンロードできます。また、岩手県が制作した地球温暖化などによる気候変動の影響と対策に関する動画も紹介しています。



* 地球温暖化を防ごう隊

<https://www.co2-diet.com/fusegoutai/>

岩手県の小学生が取り組む地球温暖化対策です。隊員に任命された小学生は、隊員ノートを使ってお家でできる身近な省エネなどに取り組みます。いわてわんこ節電所では、隊員の取組事例紹介などを行っています。

令和3年度は事例発表を動画で発表しました。

※地球温暖化を防ごう隊事例発表@一関市立東山小学校(いわてエコ YouTube)

⇒<https://youtu.be/-GM1oE0v5QU>



* エコチェックプレゼントキャンペーン

<http://www.aiina.jp/environment/co2-diet/present.html>

日頃の省エネ行動によるCO₂削減量を確認できる「家庭のエコチェック」に参加すると、3か月ごとに抽選でプレゼントが当たります！

*いわてわんこ節電所のプレゼントキャンペーン賞品は、協賛企業提供商品です。

令和3年度は春、夏、秋、冬と4回開催しました。

* いわてわんこ節電所ニュース

毎月15日に配信するメールニュース「いわてわんこ節電所ニュース」では、イベント情報やタイムリーなお知らせ記事を中心に、取材を交えた特集記事や先進的な事業所の取組を紹介するコーナー等を掲載しています。

令和3年度 いわてわんこ節電所メールニューステーマ

4月号	◆《特集》家庭のエコチェック、新年度スタート！
5月号	◆《特集》省エネしながら快適に！「クールビズ」始まりました

6月号	◆《特集》6月は環境月間！「いわてから地球環境の未来を描こう」
7月号	◆《特集》夏の暮らしを適正化！「いわてエコアクション2021」夏エコ編
8月号	◆《特集》最新家電と10年前の家電、どのくらいエコ？おトク？
9月号	◆《特集》おうち de 参加「いわて気候変動チャレンジフェスタ2021」開催！
10月号	◆《特集》家庭のエコチェックに参加しよう！「プレゼントキャンペーン・秋」スタート！
11月号	◆《特集》エコで快適な冬暮らしを。「いわてエコアクション2021」冬エコ編
12月号	◆《特集》「COP26」と私たちの暮らしとの関係って？
1月号	◆《特集》再エネ活用、はじめてみませんか？「再エネスタート」
2月号	◆《特集》2月は省エネルギー月間です
3月号	◆《特集》「いわて気候非常事態宣言」1周年知事メッセージ

●省エネ・節電キャンペーン

「省エネ・節電キャンペーン」は、岩手のみなさんの省エネ・節電活動を応援するキャンペーンです。

12

■キャンペーン概要

岩手県地球温暖化防止活動推進センターでは、ご家庭での省エネ行動を促進し、地球温暖化対策につなげるため、県民参加型の省エネ・節電キャンペーンを実施しています。（主催：温暖化防止いわて県民会議／岩手県／岩手県地球温暖化防止活動推進センター）

令和3年度は、身近なエコアクション（省エネ行動）を実践して、これからの地球のことを考えるキャンペーン「いわてエコアクション2021夏エコ編」、「いわてエコアクション2021冬エコ編」を実施しました。

1. 「これからのあたりまえ」をつくろう！ いわてエコアクション2021夏エコ編

身近なエコアクション（省エネ行動）を実践して、これからの地球のことを考えるキャンペーン。

【期間】R3年7月1日（木）～9月30日（木）

【回答方法】WEBアンケート形式

【回答数】239名（WEBアンケート）

【年代】10代：15名、20代：21名、30代：59名、40代：65名、50代：45名、60代：24名、70代～：6名

▼Webページ

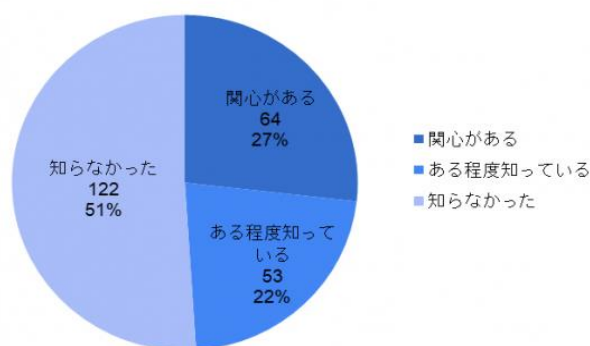


▼チラシデザイン



▼アンケート結果（一部）

「いわて気候非常事態宣言」を知っていますか？



2. 「これからのあたりまえ」をつくろう！ いわてエコアクション2021冬エコ編

身近なエコアクション（省エネ行動）を実践して、これからの地球のことを考えるキャンペーン。

【期間】期間：R3年11月15日（月）～R4年2月15日（火）

【回答方法】WEBアンケート形式

【回答数】281名（WEBアンケート）

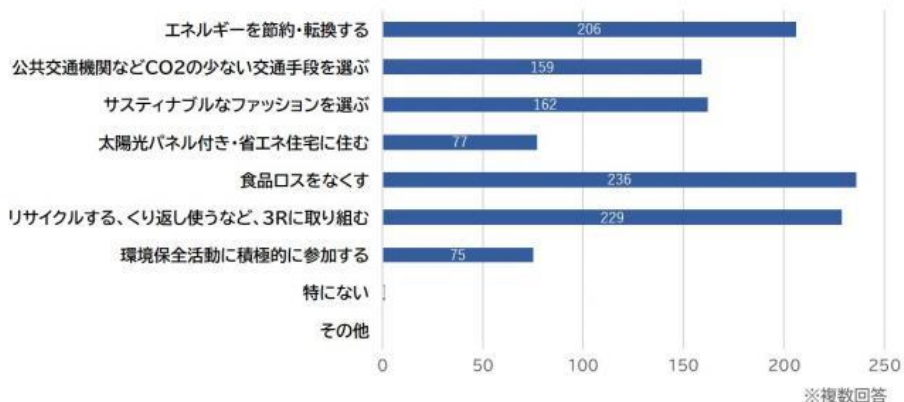
【年代】10代：17名、20代：21名、30代：57名、40代：79名、50代：65名、60代：37名、70代～：2名、無回答：2名

▼チラシデザイン



▼アンケート結果（一部）

脱炭素社会の実現に向けて、
あなたが取り組みたいことはなんですか？



13 推進員派遣一覧

No.	月日	推進員	参加人数	主催者	区分	地域	研修会等名	派遣先
1	4月19日	粒針 文子	8	高齢者と家族の防災を考える会	市民団体	盛岡	暮らしを守る地球温暖化の基礎知識と備え①	アイーナ6階
2	4月26日	粒針 文子	8	高齢者と家族の防災を考える会	市民団体	盛岡	暮らしを守る地球温暖化の基礎知識と備え②	アイーナ6階
3	5月13日	田鎖 みよ子	7	岩手大学教育学部梶原研究室	その他	盛岡	SDGS勉強会	岩手大学教育学部 2号館4階会議室
4	5月15日	吉田 偉峰	11	盛岡市環境部環境企画課	地方公共団体	盛岡	盛岡市環境学習講座「盛岡の春の夜空を観察しよう」	エコアス広場
5	5月17日	花澤 淳	148	岩手県立宮古高等学校	高校	宮古	総合的な探求の時間におけるSDGs講演会	岩手県立宮古高等学校
6	5月17日	若生 和江		岩手県立宮古高等学校	高校	宮古	総合的な探求の時間におけるSDGs講演会	岩手県立宮古高等学校
7	5月28日	花澤 淳	46	奥州市総務企画部政策企画課	地方公共団体	奥州	第2次奥州市総合計画後期計画策定にかかるSDGs勉強会	奥州市役所3階 講堂
8	5月28日	若生 和江		奥州市総務企画部政策企画課	地方公共団体	奥州	第2次奥州市総合計画後期計画策定にかかるSDGs勉強会	奥州市役所3階 講堂
9	6月5日	小堀 啓	28	釜石市役所 市民生活部 生活環境課	地方公共団体	釜石	環境月間事業「釜石市自然・生活環境展」	釜石市民ホール(TETTO)
10	6月5日	吉田 偉峰	14	八幡平銀河ステーション	市民団体	八幡平	星を見る会	七時雨山荘
11	6月14日	粒針 文子	9	市民生活研究会	市民団体	盛岡	地球温暖化対策とSDGsについて 基礎知識編	ブラザおでって
12	6月16日	川邊 弥生	58	黒沢尻西地区自治協議会	市民団体	北上	家庭教育学級 5年生「環境学習」	黒沢尻西小学校体育館
13	6月16日	若生 和江	184	奥州市 市民環境部 生活環境課 (奥州市立水沢南中学校)	中学校	水沢	奥州市環境学習事業「SDGsに関する学習会」	奥州市立水沢南中学校
14	6月17日	川邊 弥生	73	八幡平市立大更小学校	小学校	八幡平	環境に関する講和	八幡平市立大更小学校
15	6月21日	佐々木 勝裕	21	遠野市役所環境整備部環境課	地方公共団体	遠野	令和3年度遠野市地球温暖化対策推進員研修会	とびあ庁舎
16	6月21日	粒針 文子	10	市民生活研究会	市民団体	盛岡	地球温暖化対策とSDGsについて 身近なところで始まっている取り組み	ブラザおでって
17	6月23日	坂下 洋子	22	久慈市小袖小学校	小学校	久慈	地球温暖化を防ごう隊 事前学習	久慈市小袖小学校
18	7月12日	田鎖 みよ子	30	盛岡市大慈寺小学校	小学校	盛岡	地球温暖化について学ぼう	大慈寺小学校4年生教室
19	7月14日	川邊 弥生	78	北上市 生活環境部 環境政策課	小学校	北上	子どもとはじめる暮らしのエコチャレンジ事前説明会	北上市立南小学校
20	7月14日	高橋 功	17	一戸町役場生涯学習課	地方公共団体	一戸	町民セミナー	一戸町民文化センター
21	7月15日	坂下 洋子	10	盛岡市立太田小学校	小学校	盛岡	地球温暖化を防ごう隊 事前学習	盛岡市立太田小学校
22	7月16日	川邊 弥生	20	メーキングレディース花巻	企業	花巻	SDGs研修会	JAいわて花巻 湯本支店
23	7月19日	粒針 文子	12	高齢者と家族の防災を考える会	市民団体	盛岡	暮らしを守る地球温暖化と防災 最新事情	アイーナ6階
24	7月26日	粒針 文子	12	市民生活研究会	市民団体	盛岡	衣料品と食品ロスを減らすために ～最新事情と私たちにできること～	ブラザおでって
25	7月29日	佐々木 洋介	16	宮古市田老公民館	公民館	宮古	ジュニア体験広場「こどもSDGs～紙すき体験！」	宮古市田老公民館大会議室
26	7月30日	高橋 良和	46	岩手県環境生活部環境生活企画室	地方公共団体	水沢	エコドライブについて	奥州市文化会館2ホール展示室
27	7月31日	若生 和江	17	奥州市協働まちづくり部地域づくり推進課	地方公共団体	奥州	市民活動支援講座 SDGs講座	江刺生涯学習センター
28	7月31日	吉田 偉峰	7	八幡平銀河ステーション	市民団体	八幡平	星を見る会	七時雨山荘
29	8月3日	高橋 功	15	久慈市消費生活センター	地方公共団体	久慈	消費者力アップ講習会	久慈市役所 車庫棟3階 会議室2, 3
30	8月6日	千葉 理恵	20	一関市川崎市民センター	市民団体	一関	次世代を担う幼少年の健全育成「川の楽校」	一関市川崎市民センター
31	8月9日	櫻井 則彰	14	盛岡中央高等学校	高校	盛岡	SDG'S goal15「陸の豊かさを守ろう」に関する講和	盛岡中央高等学校
32	9月27日	佐々木 洋介	30	大船渡市立中央公民館	公民館	大船渡	吉浜地区生きがいセミナー「よしはま大学」学習会	吉浜地区拠点センター
33	9月27日	櫻井 則彰		大船渡市立中央公民館	公民館	大船渡	吉浜地区生きがいセミナー「よしはま大学」学習会	吉浜地区拠点センター
34	9月27日	川邊 弥生	42	一関市立東山小学校	小学校	一関	地球温暖化防止防止学習会(4年生)	一関市立東山小学校
35	9月28日	若生 和江	63	奥州市 市民環境部 生活環境課 (水沢商業高等学校)	高校	水沢	奥州市環境学習事業「SDGsに関する学習会」	岩手県立水沢商業高等学校
36	9月28日	花澤 淳		奥州市 市民環境部 生活環境課 (水沢商業高等学校)	高校	水沢	奥州市環境学習事業「SDGsに関する学習会」	岩手県立水沢商業高等学校
37	10月4日	若生 和江	16	奥州市 市民環境部 生活環境課 (奥州市立若柳小学校)	小学校	奥州	奥州市環境学習事業「ごみ・リサイクルに関する学習会」	奥州市立若柳小学校
38	10月5日	若生 和江	21	奥州市 市民環境部 生活環境課 奥州市立稲瀬小学校	小学校	奥州	奥州市環境学習事業「地球温暖化・エネルギーに関する学習会」	奥州市立稲瀬小学校
39	10月15日	若生 和江	5	特定非営利活動法人紫波みらい研究所	その他	紫波	うちエコごはん講座	オガール キッチンスタジオ
40	10月16日	川邊 弥生	28	北上市地域婦人団体協議会	市民団体	北上	SDGs・4R運動についての研修会	北上市社会福祉協議会
41	10月17日	若生 和江	45	盛岡市環境部企画課	地方公共団体	盛岡	盛岡市環境学習講座「ecoキッズ⑤エコアス収穫祭！」～食べる大切さを学ぼう～	ニコアス広場
42	10月18日	川邊 弥生	15	花巻農協女性部宮野目支部	企業	花巻	みやのめ女性塾	花巻農協旧宮野目支店会議室
43	10月20日	田鎖 みよ子	30	久慈市消費生活センター	地方公共団体	久慈	消費者力アップ講習会	久慈市役所 車庫棟3階 会議室2, 3
44	10月23日	小堀 啓	70	久慈市地球温暖化対策地域協議会	地方公共団体	久慈	地球温暖化対策フォーラム	久慈市文化会館 アンバーホール
45	10月25日	粒針 文子	12	紫根の会	市民団体	盛岡	気候変動に負けない暮らし①	ブラザおでって

No.	月日	推進員	参加 人数	主催者	区分	地域	研修会等名	派遣先
46	10月26日	高橋 功	12	岩手県環境生活部環境生活企画室	地方公共団体	釜石	事業所における省エネ活動のポイント	釜石地区合同庁舎4F大会議室
47	10月26日	若生 和江	12	梁川第4区ふれあいサロン	市民団体	奥州	「SDGs講座」	第4区集落センター
48	10月30日	吉田 偉峰	10	八幡平銀河ステーション	市民団体	八幡平	星を見る会	七時雨山荘
49	11月1日	櫻井 則彰	44	釜石市立小佐野小学校	小学校	釜石	地球温暖化防止対策体験講座	釜石市立小佐野小学校
50	11月1日	粒針 文子	11	紫根の会	市民団体	盛岡	気候変動に負けない暮らし②	ブラザおでって
51	11月6日	吉田 偉峰	18	盛岡市環境部企画課	地方公共団体	盛岡	環境学習講座「もりおかの秋の夜空を観察しよう！」	高松地区保健センター
52	11月8日	徳谷 喜久子	494	一関市立磐井中学校	中学校	一関	環境学習講座 地球環境保全と私たちの暮らし	一関市立磐井中学校
53	11月8日	粒針 文子	11	紫根の会	市民団体	盛岡	気候変動に負けない暮らし③	ブラザおでって
54	11月9日	千葉 理恵	32	一関市いきがいきづくり課	地方公共団体	一関	社会教育関係職員研修会	花泉宿泊交流研修施設「花夢パル」
55	11月17日	林 俊春	45	岩手県環境生活部環境生活企画室	地方公共団体	盛岡	事業所における省エネ活動のポイント	盛岡地区合同庁舎8F大会議室
56	11月17日	櫻井 則彰	32	紫波町産業部環境課環境係	地方公共団体	紫波	令和3年度「岩手の川、海、環境を守ろう！身近なプラス チェックみ減量運動」	紫波町情報交流館 大スタジオ
57	11月24日	吉田 偉峰	34	一戸町立一戸南小学校	小学校	一戸	理科学習会5, 6年生	一戸町立一戸南小学校
58	11月29日	川邊 弥生	13	一般社団法人 遠野ふるさと公社	企業	遠野	環境学習 研修	たかむろ水光園
59	11月30日	若生 和江	11	梁川第4区ふれあいサロン	市民団体	奥州	「SDGs講座」	第4区集落センター
60	12月1日	吉田 偉峰	19	一戸町立一戸南小学校	小学校	一戸	理科学習会4年生	一戸町立一戸南小学校
61	12月4日	薄井 信次	8	Hirasawa f market	企業	一関	楽しく学ぶエネルギー	Hirasawa f market
62	12月6日	高橋 功	14	大船渡市立越喜来小学校 6年	小学校	大船渡	「地球温暖化を防ごう隊」活動事前学習	大船渡市立越喜来小学校
63	12月6日	若生 和江	15	花巻農協女性部とおのよつば地域支部	企業	遠野	SDGsの取り組みについて	JAいわて花巻遠野野菜産地管理センター
64	12月7日	若生 和江	26	田原振興会 環境保健部	その他	奥州	環境保健部 女性部共催 役員研修会「SDGsってなあ に？」	田原地区センター
65	12月9日	川邊 弥生	14	花巻農協女性部とおのよつば地域支部上 郷支部	企業	遠野	SDGsの取り組みについて	上郷地区センター
66	12月13日	若生 和江	11	岩手県立大槌高等学校	高校	盛岡	岩手県立大槌高校三陸みらい研究ラーニングジャーニー	環境学習交流センター
67	12月14日	若生 和江	12	梁川第4区ふれあいサロン	市民団体	奥州	「SDGs講座」	第4区集落センター
68	12月15日	若生 和江	17	花巻農協女性部とおのよつば地域支部宮 守支店	企業	遠野	SDGsの取り組みについて	JAいわて花巻 宮守取次店
69	1月6日	高橋 功	14	前沢地区連合振興会	市民団体	奥州	令和3年度 小正月行事	前沢地区センター
70	1月6日	高橋 良和	50	丹内建設 株式会社	企業	滝沢	安全衛生大会	丹内建設
71	1月14日	杉枝 武雄	12	岩手県環境生活部環境生活企画室	地方公共団体	久慈	事業所における省エネ活動のポイント	久慈地区合同庁舎6F大会議室
72	1月23日	若生 和江	10	花巻農協女性部とおのよつば地域支部綾 織支部	企業	遠野	SDGs料理講習会	綾織地区センター
73	2月1日	高橋 良和	62	矢巾町立矢巾東小学校	小学校	矢巾	令和3年度矢巾町環境学習	矢巾町立矢巾東小学校
74	2月5日	徳谷 喜久子	18	生活クラブ生活協同組合・岩手	その他	盛岡	省エネ講座	生活クラブ 盛岡センター
75	2月10日	若生 和江	23	矢巾町立德田小学校	小学校	矢巾	令和3年度矢巾町環境学習	矢巾町立德田小学校
76	2月12日	徳谷 喜久子	6	生活クラブ生活協同組合・岩手	その他	水沢	省エネ講座	生活クラブ 水沢センター
77	3月5日	若生 和江	11	笑いのたねプロジェクト	市民団体	奥州	南部鉄器でエコおやつを作ろう	ワラタネスクエア
78	3月7日	粒針 文子	10	みんなで防災 友の会	市民団体	盛岡	地球温暖化問題と三陸の海で起きていることについて	ブラザおでって
79	3月17日	櫻井 則彰	31	東京大学海洋研究所 大槌沿岸センター	その他	大槌	森と海をつなぐプロジェクト大槌高校・はま研究会 海ゴミ研究班の調査発表会	岩手県立大槌高等学校(環境学習 交流センター)
80	3月20日	粒針 文子	20	みんなで防災 友の会	市民団体	盛岡	地球温暖化問題と海の関係について	ブラザおでって

●岩手県地球温暖化防止活動推進員派遣事業

県民の方が地球温暖化などに関する研修会等を開催する場合に、その研修会の講師として地球温暖化防止活動推進員を派遣する事業です。令和3年度は県内各地で講演等を行いました。

13

実施日	4月19日	主催者	高齢者と家族の防災を考える会	推進員	粒針 文子
		対象	会員8名		
研修会		暮らしを守る地球温暖化の基礎知識と備え①			
テーマ		地球温暖化			
内容(推進員より)		暮らしを守る「地球温暖化の基礎知識と備え①」と題し、COPやIPCC、パリ協定といったニュースによく出てくる用語の解説と国際的な取り組み状況や身近な企業が取り組んでいるSDGsについてお話をした。市民の行動変容を期待するばかりの施策が目立つが、それがどれほど大変か、あるいはできることは何かをまず理解し、行動につなげることで暮らしをどのように守っていくのかを一緒に考え、皆さん、熱心に聴講いただいた。			

実施日	4月26日	主催者	高齢者と家族の防災を考える会	推進員	粒針 文子
		対象	会員8名		
研修会		暮らしを守る地球温暖化の基礎知識と備え②			
テーマ		地球温暖化			
内容(推進員より)		暮らしを守る「地球温暖化の基礎知識と備え②」と題し、盛岡市で推進しているごみの徹底分別と家電製品の使い方の工夫についてお話した。特にプラスチック関連製品、紙製品のリサイクルマークがついていてもどのように始末するのが正しいのか、消費者目線、高齢者目線でお話をした。ごみはどこからがごみとなるのか、少しでも減らし資源化することで快適な暮らしにつながる。それを続けられるよう一緒に考えてみました。			

実施日	5月13日	主催者	岩手大学教育学部梶原研究室	推進員	田鎖 みよ子
		対象	大学4年生6名、教授 合計7名		
研修会		SDGs勉強会			
テーマ		SDGs勉強会			
内容(推進員より)		卒論のテーマSDGs カードゲーム体験(クロス)における参加者の理解について SDGs 概要とカードゲーム「クロス」体験を通して実際に体験することにより、目標達成の促進を図る。環境学習交流センター主導のプログラムサポートを行った。			





実施日	5月15日	主催者	盛岡市環境生活部環境企画課	推進員	吉田 偉峰
		対象	公募11名		
研修会		盛岡市環境学習講座「盛岡の春の夜空を観察しよう！」			
テーマ		大気環境問題・光害についての学習および星の観察			
内容(推進員より)		・地域の星空環境と季節の星々。 ・光害と地域のエネルギー消費。			

実施日	5月17日	主催者	岩手県立宮古高等学校	推進員	若生 和江
		対象	2学年生徒148名 教諭10名 合計158名		
研修会		総合的な探求の時間「宮校ゼミⅡ」SDGs講演会			
テーマ		SDGs			
内容(推進員より)		・SDGsの目標について補足説明。 ・クロスゲームで学ぶこと。 ・クロスゲームのルールや進め方の説明。 ・クロスゲームを通じて、互いの意見を聞きあい協力して課題解決に臨む体験をする。 ・今後の地域での活動に活かせるよう地域資源の活用や多様な人たちとの協力の大切さを伝えた。			

実施日	5月17日	主催者	岩手県立宮古高等学校	推進員	花澤 淳
		対象	2学年生徒148名 教諭10名 合計158名		
研修会		総合的な探求の時間「宮校ゼミⅡ」SDGs講演会			
テーマ		SDGs			
内容(推進員より)		SDGs について生徒の理解を深めることを目的とし、カードゲーム“クロス”を活用した SDGs 学習のファシリテートを行った。 学習は6・7校時の1時間 45分を利用し、地球温暖化防止活動推進センターで作成したスケジュールに従って、25分の動画視聴と 15分×2回のゲーム実施、そして20分のグループ発表を実施し、その中でゲームのルールの解説とゲーム中のアドバイスをを行った。			

実施日	5月28日	主催者	奥州市総務企画部政策企画課	推進員	若生 和江
		対象	奥州市職員46名		
研修会		第2次奥州市総合計画後期計画策定にかかる第2回庁内ワーキンググループ会議「SDGs勉強会 & クロス体験」			
テーマ		SDGs			
内容(推進員より)		第2次奥州市総合計画後期計画策定にかかるSDGs勉強会におけるTHE SDGs アクションカードゲームクロス体験サポート。			

実施日	5月28日	主催者	奥州市総務企画部政策企画課	推進員	花澤 淳
		対象	奥州市職員46名		
研修会		第2次奥州市総合計画後期計画策定にかかる第2回庁内ワーキンググループ会議「SDGs勉強会 & クロス体験」			
テーマ		SDGs			
内容(推進員より)		岩手県地球温暖化防止活動推進センターが実施する「THE SDGs アクションカードゲームクロス」体験サポート、3つのグループを担当し、ゲーム中にアドバイスをを行った。			

実施日	6月5日	主催者	釜石市生活環境課	推進員	小堀 啓
		対象	釜石市民28名		
研修会		環境月間事業『釜石市自然・生活環境展』			
テーマ		ごみ減量とリサイクル			
内容(推進員より)		「地球のために自分にもできること」と題し、自宅から出る雨水排水とマイクロプラスチック問題、地球温暖化対策と生ごみ処理機、駐車場への木質チップ敷設とヒートアイランド防止、自宅の断熱化と岩手型住宅等について、我が家の取り組み事例を交え説明した。			



実施日	6月5日	主催者	八幡平銀河ステーション	推進員	吉田 偉峰
		対象	県内外の星見愛好家 15名		
研修会		星を見る会			
テーマ		天文			
内容(推進員より)		・地域の星空環境と季節の星々。 ・光害と地域のエネルギー消費。			

実施日	6月14日	主催者	市民生活研究会	推進員	粒針 文子
		対象	会員9名		
研修会		地球温暖化対策とSDGsについて 基礎知識編			
テーマ		地球温暖化			
内容(推進員より)		報道でよく伝えられる地球温暖化対策と産業の動向について、記事を紹介しながら平易な表現でお話しました。「脱炭素社会」「化石燃料」「森林破壊」「再生可能エネルギー」「電気自動車」「排出量実質ゼロ」などのワードを材料に自分の暮らしとどのように関わるのかを考えていただきました。			

実施日	6月16日	主催者	黒沢尻西地区自治協議会	推進員	川邊 弥生
		対象	黒沢尻西小学校5年生58名		
研修会		家庭教育学級5年生「環境学習」			
テーマ		CO2排出抑制に自分たちのできることを学ぶ			
内容(推進員より)		・コロナ感染予防対策として一日に何度も手洗いすることが多くなりましたが、河川を汚さない環境にやさしい手洗いについて説明。 ・海洋ごみ「海洋プラスチックごみ」について紹介。私たちがレジ袋をやめるとかなりの原油が節約できて、海洋ごみを減らすことができる。 ・風呂敷の活用方法も実演しながら紹介した。 ・最後にエコチェックアンケート、省エネ行動について記入してもらいました。			

実施日	6月16日	主催者	奥州市立水沢南中学校		若生 和江
		対象	生徒175名 教諭10名 合計185名		
研修会		奥州市環境学習事業「SDGsに関する学習会」			
テーマ		SDGsの「13気候変動に具体的な対策を」について			
内容(推進員より)		・希望するテーマSDGsの「13 気候変動に具体的な対策を」についてについて、関心を深められるような「座学」とグループでの話し合いの「体験」を組み合わせた形の学習とした。 ・今までの学習や今年度の学年の取り組みにつなげられるような内容 ・学年で今年度取り組みを進めている「節電」「節水」に課題を絞ることによって、実際の取り組みに活かせるよう工夫した。 ・課題の解決に向けて、多様な人々との対話や意見を練り合わせて行くという体験を今後の活動に役立てられるよう立案した。			

実施日	6月17日	主催者	八幡平市立大更小学校	推進員	川邊 弥生
		対象	4年生64名 教職員4名 保護者8名		
研修会		環境に関する講話			
テーマ		環境			
内容(推進員より)		・コロナ感染予防対策として一日に何度も手洗いすることが多くなりましたが、河川を汚さない環境にやさしい石鹼について説明。 ①石鹼の歴史はメソポタミアの粘土板に「油1に対して植物の灰5.5」と石鹼の作り方が刻まれている。日本に入ってきたのは戦国時代で石田三成が贈り物として石鹼を贈っている。 ②石鹼は3種類あり「固形」「液体」「粉末」がある。 ③汚れを落とす石鹼について。環境にやさしい石鹼の説明後は海洋のごみ「マイクロプラスチックごみ」について紹介。 ・私たちがレジ袋をやめるとかなりの原油が節約できて、海洋ごみを減らすことが出来る。 ・風呂敷の活用方法も実演しながら紹介した。 ・最後にエコチェックアンケート、省エネ行動について記入してもらいました。			

実施日	6月21日	主催者	遠野市環境整備部環境課	推進員	佐々木 勝裕
		対象	遠野市職員21名		
研修会		令和3年度 遠野市地球温暖化対策推進員研修会			
テーマ		脱炭素社会への挑戦			
内容(推進員より)		演題「気候危機と脱炭素社会への挑戦」と題して講和 ・3つの気象災害・海洋への貯熱 ・CO2濃度の急増 ・IPCC1.5℃特別報告書・脱炭素を目指す取り組み(太陽光発電、薪ストーブ、EV、ZEH) ・2030年までの10年、全分野で			

実施日	6月21日	主催者	市民生活研究会	推進員	粒針 文子
		対象	一般会員10名		
研修会		地球温暖化対策とSDGsについて			
テーマ		地球温暖化対策とSDGs、身近な取り組みについて			
内容(推進員より)		SDGsの目標にある気候変動、水資源や環境にかかわる内容が生まれた背景を簡単に説明し、今年の春から初夏にかけてリンゴや梨など農業関連ニュースを振り返りながら、生態系と温暖化のかかわりを一緒に考えてみました。			

実施日	6月23日	主催者	久慈市立小袖小学校	推進員	坂下 洋子
		対象	3年から6年生児童22名		
研修会		「地球温暖化を防ごう隊」事前指導			
テーマ		地球温暖化			
内容(推進員より)		・導入として地球儀ビーチボール(ちっきゅん)と自分(さかりん)の紹介。 ・“ちっきゅん”と風呂敷を使用して地球温暖化の仕組みを伝え、温暖化の様子のひとつとして、スイスで取材した氷河の現状などを映像で伝えた。 ・ドイツで暮らした時に取材した、ドイツでの環境に関する取り組みの中から、小学生に身近に感じてもらえるような取り組みをピックアップし、画像で伝えた。 ・二酸化炭素くん(オリジナル)と葉っぱ(造花)を利用して二酸化炭素との関わり大切さを伝えながら、CO2を悪者にするのではなく、いかに関わっていくかが大切であり、そのためには人間の生活から、いかにして無駄を減らしていくかも大切になってくるということ等を伝えた。 ・手回し発電機を利用してLEDの省エネ力を体感してもらった。 ・温暖化防ごう隊員のミッションを成功させるべく頑張ろう！という気持ちを共有した。			

実施日	7月12日	主催者	大慈寺小学校	推進員	田鎖 みよ子
		対象	4学年児童27名 教諭2名 校長先生 合計30名		
研修会		地球温暖化を学ぼう！			
テーマ		地球温暖化、エネルギーについて			
内容(推進員より)		出張環境学習会のサポートを行った。エコチェックアンケートについて指導(チェック項目が保護者を対象としているフォームのため4年生児童が頼者に取り組み依頼を話すことの意義を解かりやすく説明いたしました。)SDGsバッジを持参し、視覚・触覚をつかい飽きない工夫をしました。			

実施日	7月14日	主催者	北上市立南小学校	推進員	川邊 弥生
		対象	4年生児童76名 教員2名		
研修会		子どもとはじめる暮らしのエコチャレンジ事前説明会			
テーマ		地球温暖化について			
内容(推進員より)		・地球温暖化の最新情報「未来の地球と私たちの暮らし」をパワーポイントで説明。 ・2100年未来の天気予報・地球温暖化とは？ ・地球温暖化の原因・地球温暖化でどんな影響がでているか？ ・地球温暖化に対して私たちは何ができるか？・二酸化炭素を出さない生活 クールチョイスクイズ ・ハチドリのはちとずく ・3マイ運動(マイバック・マイ箸・マイボトル) ・エコ風呂敷の紹介			

実施日	7月14日	主催者	一戸町	推進員	高橋 功
		対象	町民17名 役場関係者3名 合計20名		
研修会		いちのへ町民セミナー			
テーマ		節電・省エネ			
内容(推進員より)		・身近な生活を通じて地球温暖化を学ぶ”というテーマであった事から、温暖化のしくみや、経済産業省の2020年度データによ ると、家庭からの二酸化炭素排出量は、電気46.7%、ガソリン24.3%を占めている事を紹介した。 ・温室効果ガス削減に向け、いま話題となっている 再生可能エネルギー を、手作りの作品で体験していただき、再生可能エネルギーだけに頼るのではなく、冷蔵庫の仕組みを知ってエコに使う、照明のLED化、グリーンカーテン、エコドライブ等に努めるよう提案させていただきました。 ・また、近年あちこちで大規模自然災害が発生しているが、”感電” は、樹木が倒れたことが原因で切れた電線だけでなく、太陽光パネルで発電した電気でも発生する危険があるので注意が必要なことを、模型を使いながら理解を深めて頂きました。			

実施日	7月15日	主催者	盛岡市立太田小学校	推進員	坂下 洋子
		対象	4年生児童10名教員1名 合計11名		
研修会		地球温暖化を防ごう隊事前学習			
テーマ		地球温暖化			
内容(推進員より)		・導入に地球儀ビーチボール(ちっきゅん)と自分(さかりん)の紹介。・事前に子ども達が制作した環境ポスター(夏休みに家庭で呼びかけるために制作したポスター)を自己紹介と共に紹介してもらう。 ・“ちっきゅん”と風呂敷を使用して地球温暖化の仕組みを伝え、温暖化の様子のひとつとして、スイスで取材した氷河の現状などを映像で伝えた。 ・ドイツ暮らしで取材した、ドイツでの環境に関する取り組みの中から、夏休みの取り組みにつながる取り組みをピックアップし、画像と動画で伝えた。 ・二酸化炭素くん(オリジナル)と葉っぱ(造花)を利用して二酸化炭素の役割を伝え、CO2を悪者にするのではなく、上手につきあっていくために、自分たちが今できることの中から、いかにして無駄を減らしていくかも大切になってくるといこと等を伝え。 ・手回し発電機を利用してLEDの省エネ力を体感してもらった。 ・風呂敷を利用したのスイカ包みと瓶包みのデモンストレーションの後、事前に用意の大判ハンカチで、生徒一人一人に実践してもらう。・みんなの(子ども達)新しいアイデアと、“もったいない”という発想や今回取り組んだ風呂敷文化のような昔から伝わる発想の、どちらも大切になにしてミッションに取り組むことを共有した。			

実施日	7月16日	主催者	JA花巻 メーキングレディース花巻	推進員	川邊 弥生
		対象	20名		
研修会		SDGs研修会			
テーマ		SDGs			
内容(推進員より)		SDGsとは？17の目標と169のターゲットを国連加盟国193カ国が2030年までに達成するために掲げた目標であり、地球上に暮らす私たち一人一人が取り組みます。個人・家庭・企業・行政等それぞれの立場で出来ることを実践していくものです。自分が行動することで少しづつ未来を変えていくことができます。身近なことから始めましょう 風呂敷変幻自在講座活用。レジ袋有料化に向けたエコの取り組み 風呂敷の歴史、名前の由来、心を包む風呂敷、お弁当包み、風呂敷の色とサイズなど資料をもとに説明。マイクロプラスチックごみは身近なレジ袋やペットボトルなどのプラスチックごみが川に流れて、キラキラ光るために魚や貝が餌と間違えて食べる。魚や貝の内臓からプラスチックごみが見つっている。3マイ運動とはマイバック・マイ箸・マイボトルを持つ事。参加者が持参した風呂敷で包み方を体験。エコバックや傘をリフォームしたバックの作り方を紹介。最後にエコチェックアンケートの説明後に記入していただいた。			

実施日	7月19日	主催者	高齢者と家族の防災を考える会	推進員	粒針 文子
		対象	一般市民12名		
研修会		暮らしを守る地球温暖化と防災 最新事情			
テーマ		地球温暖化と防災の心得 最新事情			
内容(推進員より)		熱暑、猛暑を体感する夏となった。熱中症対策とコロナ対策を同時に行う上で気をつけたいこと、気温が高いのは日本だけではなく例えばインドでは50℃をこえ、シベリアでも39℃観測、ヨーロッパではかつてない水害に見舞われてるなど地球全体で起きていること、海水温と潮流の関係や魚介類、海藻など身近なことから温暖化の関係を日々の暮らしの視点からお話しました。特に健康を維持するための軽い室内運動や衣類の工夫、食事の工夫などに関心が高かったように思います。			

実施日	7月26日	主催者	市民生活研究会	推進員	粒針 文子
		対象	一般市民12名		
研修会		食品ロスと衣料品のロスについて最新の事情とわたしたちにできること			
テーマ		二酸化炭素排出抑制			
内容(推進員より)		衣料品と食品のロスについて現状と最近の取り組みについて、また個人がそれぞれできることをお話した。なぜロスが出るのか単に廃棄処分の総量が問題なのではなく、そこにつながる労働やトレーディングの問題点など国際社会との関連も伝えた。食品ロスでは中国の法制化は画期的なことだが、日本は企業の自主規制に頼る部分が多い。衣料品ロスでは若者向けのブランド商品がタグに製品化までの詳細を明記、繊維から繊維へとリサイクルを行うところも出てきた。各自、今後の消費行動には情報を細やかに受け取ることも大切だし、できれば作り手への感謝の気持ちが続くようなものを大事にする暮らしをおススメしたいとお伝えしました。			

実施日	7月29日	主催者	宮古市田老公民館	推進員	佐々木 洋介
		対象	公民館公募の小学生1年～6年生16名		
研修会		ジュニア体験広場「こどもSDGs～紙すき体験」			
テーマ		SDGs、リサイクル			
内容(推進員より)		17項目あるSDGsをすべて説明するには時間がかかるのと参加者の理解度を高めることが難しいと判断し、沿岸地域の小学生が身近である「13気候変動に具体的な対策を」「14海の豊かさを守ろう」に絞り説明した。13気候変動では地球温暖化について日常で使用している家電製品や児童者が影響していること、14海の豊かさを守ろうでは、海ごみ問題(マイクロプラスチック)を説明し、世界の海ごみの量やプラスチックが海で分解されない時間、もしかしたら、マイクロプラスチックが食べている魚にもう入っているかもしれないことなど、参加者が普段の生活でかかわることに焦点をあて説明した。			

実施日	7月30日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	高橋 良和
		対象	事業所におけるエコスタッフ担当者39名		
研修会		令和3年度エコスタッフ養成セミナー			
テーマ		エコドライブにおける省エネ			
内容(推進員より)		エコスタッフ養成セミナーにおける1～3を担当。コロナ禍の中企業も大変であるが環境問題の取り組みはますます必要なので参加者の方には頑張ってほしいと伝える。 1エコドライブ補助解説とポイントの説明、助言を行った。 2グループ討議の司会進行 3各討議結果への講評を行った。 参加者同士で情報のやり取りをし良いつながりを持ってほしいと伝えた。			

実施日	7月31日	主催者	奥州市生活環境課	推進員	若生 和江
		対象	奥州市市民17名		
研修会		SDGs勉強会			
テーマ		SDGs勉強会			
内容(推進員より)		「SDGsの概要」「現状把握」「THE SDGs アクションカードゲーム X(クロス)」「地域の課題を解決してみよう」の環境学習交流センタープログラムのサポートを担当「11住み続けられるまちづくりを」をテーマに気になる課題を見つける。必要な、持てるリソース(資源)を考える。→解決に向けて、アイデアを出し合う。地域のこととSDGsを結び付けながら課題解決に向かうことを学ぶ。			

実施日	7月31日	主催者	銀河ステーション	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般16名		
研修会		奥中山高原感謝祭 星空観察会			
テーマ		星空環境・光害・エネルギー問題			
内容(推進員より)		・地域の星空環境と季節の星々。 ・光害と地域のエネルギー消費。			

実施日	8月3日	主催者	久慈市消費生活センター	推進員	高橋 功
		対象	一般15名		
研修会		消費者力アップ講習会			
テーマ		地球温暖化防止のため日々の生活で実践できること			
内容(推進員より)		無理せずできるエコな暮らしのこつ学んでみませんか？というテーマでしたので、温暖化のしくみや、経済産業省の2020年度データでは、家庭からの二酸化炭素排出量が、電気46.7%、ガソリン24.3%を占めている事を紹介し、温室効果ガス削減に向け いま話題になっている ”再生可能エネルギー” を、手作りの作品で体験していただきながら、再生可能エネルギーだけに頼るのではなく、冷蔵庫の仕組みを知ってエコに使う、照明のLED化、エアコンのエコな使い方、グリーンカーテン、エコドライブ等に努めるよう提案させていただきました。また、近年あちこちで大規模自然災害が発生しているが、”感電” は、樹木が倒れたことが原因で切れた電線だけでなく、太陽光パネルで発電した電気でも発生する危険があるので注意が必要なことを、模型を使いながら理解を深めて頂きました。			

実施日	8月6日	主催者	一関市川崎市民センター	推進員	千葉 理恵
		対象	川崎町小学1年生から高校生 20名		
研修会		夏休み「川の楽校」			
テーマ		SDGs学習会			
内容(推進員より)		センター主導のプログラムのサポートを行い今後の活動のスキルアップの機会とした。 SDGsの概要について、食品ロスや平和についても触れながら、また途中クイズも交えて説明。THE SDGs アクションカードゲーム X(クロス)を実施。その後、センターより、発電体験の説明があり、各自が楽しみながら、体験を実施しました。最後に、ワークシート用いて、振り返りを実施。その後に、推進員がエコチェックアンケートを実施し、項目ごとに事例を交えながら説明した。エネルギーに対する理解を深めながら各自チェックしてもらいました。			





実施日	8月9日	主催者	盛岡中央高等学校	推進員	櫻井 則彰
		対象	生徒11名 教諭3名 合計14名		
研修会		SDGs 15「陸の豊かさを守ろう」に関する講話			
テーマ		SDGs15陸の豊かさを守ろう			
内容(推進員より)		・陸の豊かさの解説を希望された。自治体の環境対策がどうなっているかの要望もあり令和3年度から始まる岩手県環境基本計画、温暖化対策実行計画の概略版資料を提供。 ・PPTを用い、プラスチックの汚染(海外、国内、使用に伴う各種課題) ・環境汚染の原因となる考え方(地球資源、経済成長は無限との考えがありこれらが大きな害をもたらしたなど) ・SDGsの関連性、持続可能な世界を作るため何故これが、今緊急に必要とされているか。世界の動き、世界の若者の動きを紹介し、同時に2015年に採択されたパリ協定の解説、私たちの暮らしと温暖化の関連を解説、いわてSDGsカフェの活動、岩手の若者が起こす行動 ・パーム油をとるためプランテーションが多く作られること、熱帯林伐採と私たちの暮らしの関連、滅びゆく野生動物(オラウンターンが死に絶える映像など) ・私たちが何を目指さなければならないのか。どのような世界を2030年に向けて作るべきかなどを動画で示す。			

実施日	9月27日	主催者	大船渡市立中央公民館	推進員	佐々木 洋介
		対象	高齢者30名		
研修会		吉浜地区いきがいセミナー「よしはま大学」学習会			
テーマ		海洋プラスチックと環境問題			
内容(推進員より)		・海洋プラスチックと環境問題 ・マイクロプラスチックが及ぼす環境破壊について ・漁業への影響 ・今出来る環境保護、次世代への取組について			





実施日	9月27日	主催者	大船渡市立中央公民館	推進員	櫻井 則彰
		対象	高齢者30名		
研修会		吉浜地区いきがいセミナー「よしはま大学」学習会			
テーマ		海洋プラスチックと環境問題			
内容(推進員より)		・SDGsの内容の「14番海の豊かさを守ろう」に関連し世界的に深刻化する海洋プラスチック汚染を中心に、便利なプラスチックを 私たちがどのように使い、処理しなければならないのかを解説。 ・買い物をする時は、3Rも大切だが、よく考え、ごみのでないものを選択する。リフューズも大切であることを強調して伝える。 ・日本は恵まれているが、水道、電気の供給がない国がまだたくさんあること、2030年までの各種目標をかかげるSDGsが地球環境を少しでも良くすることにつながるものであること、私たちの日常から達成を目指していかなければならないことを伝える。			





実施日	9月27日		一関市立東山小学校	推進員	川邊 弥生
			4年生児童38名 担任4名 合計42名		
研修会		地球温暖化防止学習会			
テーマ		地球温暖化防止			
内容(推進員より)		地球温暖化防止学習会「地球温暖化防ごう隊の取り組み」に向けて地球温暖化の最新情報～2100年未来の地球と私たちの暮らし～をパワーポイントで説明した。 ①温暖化とは？ ②世界の平均気温上昇は？ ③温暖化の影響でどんなことが実際に起こっているか？ ④気温上昇を2度未満に抑えるために？ ⑤温暖化に対して私たちは何ができるか？ ⑥クールチョイスクイズをみんなで考えよう。 ⑦レジ袋の削減やマイクロプラスチック問題について ⑧3Rとは何かな？ ⑨はちどりのひとしずく等。			



実施日	9月28日	主催者	奥州市市民環境部生活環境課（岩手県立水沢商業高等学校）	推進員	若生 和江
		対象	岩手県立水沢商業高等学校3年生60名		
研修会		奥州市環境学習事業(SDGsに関する学習会)			
テーマ		SDGs			
内容(推進員より)		・「水商 SDGs」地域とつながりもっと笑顔にと題し、SDGsの概要、背景、地域での取り組みについて講演。 ・今後の授業や各テーマのSDGsの関連するグループ研究の参考となるような内容を考え、活動の起点となるよう投げかけを行った。 ・来月末の文化祭に向け、今後も要望に応じて課題ごとのフォローや地域の他団体等との連携に向けて市役所と共に協力を継続していく予定である。			



実施日	9月28日	主催者	奥州市市民環境部生活環境課（岩手県立水沢商業高等学校）	推進員	花澤 淳
		対象	岩手県立水沢商業高等学校3年生60名		
研修会		奥州市環境学習事業(SDGsに関する学習会)			
テーマ		SDGs			
内容(推進員より)		THE SDGsアクションカードゲームクロス体験のサポートとしてゲームの仕方を説明するとともに、グループごとにゲームを実施した。 ゲームは4～5人を1グループとし、前11グループを4人でサポートした。私はそのうちの3グループを担当しゲーム中にアドバイスを行った。また高校生が今後取り組む課題のグループワークに対してもアドバイスを行った。			



実施日	10月4日	主催者	奥州市市民環境部生活環境課	推進員	若生 和江
		対象	奥州市立若柳小学校4年生児童15名		
研修会		奥州市環境事業「ごみ・リサイクルに関する学習会」			
テーマ		ごみ・リサイクル			
内容(推進員より)		・ごみとリサイクルの何が課題かを考える。 ・分別体験を通じ、やってみるにつなげる。 ・それぞれが、リサイクルやごみ減量に自分から取り組むきっかけをつくる。			

実施日	10月5日	主催者	奥州市市民環境部生活環境課	推進員	若生 和江
		対象	4年生児童21名		
研修会		奥州市環境学習事業「地球温暖化・エネルギー」			
テーマ		地球温暖化・エネルギー			
内容(推進員より)		・地球温暖化とは？ ・温暖化で起きている事 ・暮らしの中でのエネルギーとの関わり ・エネルギーの内訳 ・エネルギーのいろいろとメリット、デメリット ・省エネについて、発電比較体験の実施			



実施日	10月15日	主催者	特定非営利活動法人紫波みらい研究所	推進員	若生 和江
		対象	紫波町民10名		
研修会	うちエコごはん講座				
テーマ	エコな調理法を学ぶ				
内容(推進員より)	・身近にあるもので作れる内容にする事で、家庭で実践しやすい内容とした。 ・常備している野菜や乾物を使って作る事。 ・余った食材を使って食べきる工夫などを実習。				

実施日	10月16日	主催者	北上市地域婦人団体	推進員	川邊 弥生
		対象	会員28名		
研修会		SDGs・4R運動についての研修会			
テーマ		SDGs・4R			
内容(推進員より)		SDGsについてや4R推進運動に向けた研修会を行った。風呂敷包みを展示しSDGsとは？17の目標と169のターゲットを国連加盟国193カ国が2030年までに達成するために掲げた目標であること、私たちが出来る身近な例として ①電気や水道の無駄をなくす ②食品や日用品を使い切る ③認証マークの商品を買う ④マイバック・マイ箸・マイボトルを持ち歩く ⑤簡易包装や詰め替えの商品を選ぶ ⑥地産地消 ⑦使わないおもちゃや服など寄付する ⑧車での移動を少なくする ⑨お互いの違いを認め協力する等。 個人では解決できない問題もあるが自分に出来ることを見つけて取り組むことで目標を達成できる。県民運動としての3マイ運動の推進や食品ロスの実態、マイクロプラスチックゴミとは？4Rについては県のゴミ排出速報値のデータから身近なゴミの量を考え減らす工夫をすることを説明した。			

実施日	10月17日	主催者	盛岡市環境部環境企画課	推進員	若生 和江
		対象	ecoキッズ親子45人		
研修会	盛岡市環境学習講座「ecoキッズ⑤エコアス収穫祭！」				
テーマ	食品ロス				
内容(推進員より)	・SDGsってなあに？ ・SDGsが誕生したわけ ・SDGsの中で「食」に関わるおはなし ・「食品ロス」を減らす等、みんなもできることを探してやってみよう				

実施日	10月18日	主催者	花巻農協女性部宮野目支部	推進員	川邊 弥生
		対象	女性塾会員11名		
研修会		みやのめ女性塾			
テーマ		地球温暖化			
内容(推進員より)		SDGsって何？風呂敷の歴史から使い方など紹介、SDGsとは？17の目標と169のターゲットを国連加盟国193カ国が2030年までに達成するために掲げた目標、私たちが出来る身近な例として ①電気や水道の無駄をなくす ②食品や日用品を使い切る ③認証マークの商品を買う ④マイバック・マイ箸・マイボトルを持ち歩く ⑤簡易包装や詰め替えの商品を選ぶ ⑥地産地消 ⑦使わないおもちゃや服など寄付する ⑧車での移動を少なくする⑨お互いの違いを認め協力する等。 個人では解決できない問題もあるが自分に出来ることを見つけて取り組むことで目標を達成できる。県民運動としての3マイ運動の推進、食品ロスの実態、後半でレジ袋の削減として風呂敷の活用方法と皆さんが持参した風呂敷で包み方の体験。			

実施日	10月20日	主催者	久慈市消費生活センター	推進員	田鎖 みよ子
		対象	久慈市民30名		
研修会		消費者力アップ講習会			
テーマ		ごみ減量とリサイクル			
内容(推進員より)		賢い消費者になるために、ゴミ減量からできる消費者力アップを、環境問題と片づけの切り口から参加者の年代にあわせて講演しました。			

実施日	10月22日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室(釜石会場)	推進員	高橋 功
		対象	企業エコスタッフ12名		
研修会		令和3年度エコスタッフ養成セミナー(釜石会場)			
テーマ		エコドライブ			
内容(推進員より)		午前中は、DVDを見て頂きながらエコドライブのポイントについて、午後は「職場のエコは家庭から」というサブタイトルで、電気・事務所(住宅)、自動車について、エコのポイントや県内企業が取り組んでいる事例、そして三年前北海道で発生した大停電(ブラックアウト)や、二年前千葉県内で発生した停電を教訓にエコスタッフとして知っておいてほしい点について、手作りの作品を使った実験等交えながらお話しさせていただきました。			

実施日	10月23日	主催者	久慈市地球温暖化対策地域協議会	推進員	小堀 啓
		対象	市民70名		
研修会		地球温暖化対策フォーラム			
テーマ		地球温暖化			
内容(推進員より)		「省エネ住宅で地球を救え」と題し、気候変動対策に向け、自分でなければならない取り組みとしての省エネ住宅を、省エネ住宅とは何か、ということも交えながら説明した。			

実施日	10月25日	主催者	紫根の会	推進員	粒針 文子
		対象	65歳以上でワクチン接種済み県内在住会員10名		
研修会		気候変動に負けない暮らし方①			
テーマ		気候変動			
内容(推進員より)		「気候変動に負けない暮らし方」というテーマの第1回目の講座を行った。日本人が気候変動関連の分野でノーベル物理化学賞を受賞したこともあり関心はあるけれどまだ何もよくわからないという方たちを対象に、気候変動について一般常識としてまずどういったことを知っておいたほうが良いかをお話した。また、最近起こっている身近なことで食料や漁業関連の話、どういったことが予測されるかなど質問に応じて話した。			

実施日	10月26日	主催者	梁川第 4 区ふれあいサロン	推進員	若生 和江
		対象	地域住民9名		
研修会		SDGsってななに			
テーマ		SDGs			
内容(推進員より)		・SDGsってななに？ ・世界や社会の情勢、なぜ今SDGs？ ・身近なところで見つけようSDGs ・暮らし、共生、今の暮らしとつながるSDGs ・12「作る責任つかう責任」を掘り下げる ・私たちにできることを考える			

実施日	10月30日	主催者	八幡平銀河ステーション	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般10名		
研修会		星を見る会			
テーマ		光害			
内容(推進員より)		・地域の星空環境と季節の星々 ・光害と地域のエネルギー消費			

実施日	11月1日	主催者	釜石市立小佐野小学校	推進員	櫻井 則彰
		対象	4年生児童44名		
研修会		地球温暖化防止対策体験講座			
テーマ		地球温暖化			
内容(推進員より)		・電気はどうやって発生させるのか、火力発電と温暖化の関係 ・私たちの暮らしと温暖化の関係 ・温暖化を防ぐために私たちが出来ることは何か			

実施日	11月1日	主催者	紫根の会	推進員	粒針 文子
		対象	65歳以上のワクチン接種済みの方10名		
研修会		気候変動に負けない暮らし方②			
テーマ		気候変動			
内容(推進員より)		折しもCOP26の開催ニュースが伝えられる中、日本の立場や前回までの国際会議の場でどのような批判や要望があったかなども含めて、気候変動がもたらす影響の大きさを皆さんに考えてもらった。身近なことで気づくことも大切だが取り組まなければならない壁の高さも想像しないことには人類の危機というのがわからない。しかし当初の想定より事態は深刻ではないかという懸念材料が多発している状況をお話した。			

実施日	11月6日	主催者	盛岡市環境企画課	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般16名・市職員3名 合計19名		
研修会		盛岡市環境学習講座「もりおかの秋の夜空を観察しよう！」			
テーマ		光害・星空環境			
内容(推進員より)		・地域の星空環境と季節の星々。 ・光害と地域のエネルギー消費。			





実施日	11月8日	主催者	一関市立磐井中学校	推進員	徳谷 喜久子
		対象	1年～3年495名		
研修会		地球の保全と私たちの暮らし			
テーマ		地球温暖化			
内容(推進員より)		環境学習講座「地球の保全と私たちの暮らし」というテーマでのテレビを通しての講演を依頼され、校長室よりカメラの前での説明と、パワポとDVDを用いた。地球温暖化の仕組みから説明し、国別のCO ₂ 排出量、日本の分野別排出量、家庭の何処から排出されるか→身近なところからフードマイレージと食品ロス、一関市の農地と森林面積、最後に磐井中学校の屋上に設置されたソーラーパネルからの再エネの話、タイムリーなIPCC第6次報告書とCOP26の説明と、最後に生徒たちへのメッセージ「2030年にあなたは何歳ですか？」で締めくくり、エコチェックシートを全員に配布してもらったので、チェックと裏面に感想や質問を自由記載してもらった。			

実施日	11月8日	主催者	紫根の会	推進員	粒針 文子
		対象	65歳以上の女性会員11名		
研修会		気候変動に負けない暮らし方③			
テーマ		気候変動に負けない暮らし方③			
内容(推進員より)		中津川にサケが登ってこないというニュースが新聞で流れて以降、橋から川を一所懸命のぞく市民の姿が増えた。自然観察は同じ場所を何度も訪れることで季節の変化や年ごとの変化に気づくようになる。肌身の経験値こそ人の宝だと思うが、年を重ねても気づかないことは多い。だから世代を超えていろいろな人とかわることで、いろいろな視野が広がる。それは気候変動対策の課題に向かう上で欠かせない点である。			

実施日	11月9日	主催者	一関市いきがづくり課	推進員	千葉 理恵
		対象	一関市各地域の市民センター職員 28名		
研修会		社会教育関係職員等研修会			
テーマ		SDGs			
内容(推進員より)		・SDGs についてセンターより動画を用いながら SDGs の概要について説明が行われた。その後センターより、The SDGs アクションカードゲーム「X」の説明が行われ、各グループごとに実際にゲームを体験し、いくつかのグループから発表を行っていただいた。 ・SDGs 未来都市一関～地域の資源と課題を見つけよう～というテーマで ①資源を見つける ②課題と問題を考える ③その原因を考える④解決するためにパートナーとなりえる団体・セクターを考える ④その後関連するSDGsの目標を抽出し、グループごとの発表を行うというワークショップを実施した。			

実施日	11月17日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	林 俊春
		対象	企業のエコスタッフ45名		
研修会		令和3年度エコスタッフ養成セミナー			
テーマ		エコドライブ、事業所における省エネ活動のポイント、省エネ等に係るグループ討議			
内容(推進員より)		「事業所における省エネ活動のポイント～職場のエコ活動で成果を上げるには～」にて講演 ・社会の持続可能性(人、自然、経済) ・地球温暖化の現状(2021年の新聞等の情報から) ・二酸化炭素「ゼロ」宣言から見えること ・エコスタッフとして日本の環境の歴史を知ろう ・エコスタッフとして地球の歴史を知ろう ・地球温暖化の概要とパリ協定 ・SDGsについて知ろう ・我々エコスタッフにできることは ・二酸化炭素の排出量の算出方法を知ろう ・二酸化炭素の削減効果を上げるには ・カーボンプライシングを学ぼう ・まとめ			

実施日	11月17日	主催者	紫波町産業部環境課	推進員	櫻井 則彰
		対象	紫波町環境団体に所属している方々32名		
研修会		令和3年度「岩手の川、海、環境を守ろう！身近なプラスチックごみ減量運動」			
テーマ		ごみ減量とリサイクル			
内容(推進員より)		・2015年国連採択のSDGs各番号の解説、陸の豊かさ、海の豊かさに関連する海洋プラスチック汚染の課題、私たちはどのような生活をしなければならないか講演を行った。 ・講演終了後北上川河川敷に移動、参加者とともにごみ拾いを実施した。			

実施日	11月24日	主催者	一戸町立一戸南小学校	推進員	吉田 偉峰
		対象	5～6年生児童32名 教員2名 合計34名		
研修会		理科学習会			
テーマ		地球・宇宙・地球温暖化の影響			
内容(推進員より)		・宇宙と地球の位置関係と、地球温暖化の基礎知識。 ・身近な星空環境と光害問題への対策。			

実施日	11月29日	主催者	一般社団法人遠野ふるさと公社	推進員	川邊 弥生
		対象	大人13名		
研修会		環境学習研修(エコとは？)			
テーマ		ごみ減量とリサイクル			
内容(推進員より)		「エコ体験型みんなの保養所」のエコとは何か？ ・最初に2100年未来の天気予報のスライドを見ていただき、温暖化対策など紹介しました。 ・次にSDGsとは？17の目標と169のターゲットを国連加盟国193か国が2030年までに達成するために啓けた目標である。 ・私たちが出来る身近な例として ①電気や水道の無駄をなくす。 ②食品や日用品を使い切る。 ③認証マークの商品を買う。 ④マイバック・マイ箸・マイボトルを持ち歩く。 ⑤簡易包装や詰め替えの商品を選ぶ。 ⑥地産地消。 ⑦使わないおもちゃや服など寄付する。 ⑧車での移動を少なくする。 ⑨お互いの違いを認め協力する等。 ・個人では解決できない問題もあるが自分に出来ることを見つけて取り組むことで目標を達成できる。エコについては男女別のアンケートより、取り組んでいる例等を紹介。最後にレジ袋の削減として風呂敷の活用方法を紹介しました。			

実施日	11月30日	主催者	梁川第4区ふれあいサロン	推進員	若生 和江
		対象	地域住民11名		
研修会		SDGs講座			
テーマ		SDGsについて			
内容(推進員より)		・地球温暖化をより深く知ろう。 ・「キリバス」のことを学んでみよう。 ・SDGsってなあに？ ・「飢餓をゼロに」を掘り下げる。 ・食品ロスについて学び、私たちにできることを考える。			

実施日	12月1日	主催者	一戸町立一戸南小学校	推進員	吉田 偉峰
		対象	4 学年なかよし学級 17名		
研修会		理科学習会			
テーマ		星空環境と光害問題			
内容(推進員より)		・宇宙と地球の位置関係と、地球環境の基礎知識。 ・身近な星空環境と光害問題への対策。			

実施日	12月4日	主催者	HIRASAWA F.MARKET	推進員	薄井 信次
		対象	8名		
研修会		楽しく学ぶエネルギー			
テーマ		地球温暖化・エネルギー			
内容(推進員より)		新型コロナ禍の中での学習会なので、最初に新型コロナウイルスと換気について簡単に説明した。地球温暖化について「気候正義」の考え方を紹介、その後対策としての太陽光発電のしくみを太陽光パネル・コントローラー・バッテリー・インバータなど現物の電圧をテスターで実際自分で測定するなど参加型のワークショップを行った。			

実施日	12月6日	主催者	大船渡市立越喜来小学校	推進員	高橋 功
		対象	6年生児童12名 教師3名 合計15名		
研修会		「地球温暖化を防ごう隊」活動事前学習			
テーマ		地球温暖化			
内容(推進員より)		「地球温暖化を防ごう隊員ノート」と、手づくりのブック本で、温暖化のしくみや影響について考えて頂いた。その後、太陽光パネルや風力発電模型で再生可能エネルギーについて体験していただき、再生可能エネルギーだけに頼るのではなく、「身近にできるエコへの取り組みが必要」なことを知って頂き、ダンボールでつくった冷蔵庫などで具体的な取り組みを紹介した。また、近年大規模災害が多発していることから、“切れた電線には絶対触らない”“電気は、たくさんは貯めておくことができない”といったことについても手づくり模型で楽しみながら学んでいただきました。			

実施日	12月6日	主催者	花巻農協女性部 とおのよつば地域支部	推進員	若生 和江
		対象			
研修会		SDGsの取り組みについて			
テーマ		SDGs			
内容(推進員より)		・日常につながるSDGsにつながる行動について。 ・プラ減にむけて実践講習(新聞紙でゴミ袋作成)。 ・旬の大根で漬け物レシピ紹介。			

実施日	12月7日	主催者	田原振興会環境保健部	推進員	若生 和江
		対象	環境保健部女性部 26名		
研修会		環境保健部・女性部共催「SDGsってなあに」			
テーマ		SDGs			
内容(推進員より)		・SDGsの概要。 ・地域活動とのつながり。 ・奥州版SDGsについて。 ・役立つ講習(新聞紙で水切り袋、他)。			

実施日	12月9日	主催者	花巻農協女性部 とおのよつば地域支部	推進員	川邊 弥生
		対象	地域の住民14名		
研修会		SDGsの取り組みについて			
テーマ		SDGs			
内容(推進員より)		・SDGSの取り組みについて、風呂敷包み、竹を削ってマイ箸づくり。 ・SDGsとは？17の目標と169のターゲットを国連加盟国193カ国が2030年までに達成するために掲げた目標。 ・私たちが出来る身近な例として ①電気や水道の無駄をなくす。 ②食品や日用品を使い切る。 ③認証マークの商品を買う。 ④マイバック・マイ箸・マイボトルを持ち歩く。 ⑤簡易包装や詰め替えの商品を選ぶ。 ⑥地産地消。 ⑦使わないおもちゃや服など寄付する。 ⑧車での移動を少なくする⑨お互いの違いを認め協力する等。 ・個人では解決できない問題もあるが自分に出来ることを見つけて取り組むことで目標を達成できる。県民運動としての3マイ運動の推進や食品ロスに向けてレジ袋の削減として風呂敷包みの実演と後半で竹を削ってマイ箸作りを行った。			

実施日	12月13日	主催者	岩手県立大槌高等学校	推進員	若生 和江
		対象	高校生10名 引率1名 合計11名		
研修会		岩手県立大槌高校三陸みらい探究 ラーニングジャーニー			
テーマ		ごみ問題を身近な問題として捉える			
内容(推進員より)		・これからの調べ学習や地域を見る視点になるよう問いかけながら進めた。 ・具体的に大槌での地域の人と関わりながらの学習につながることを想定し県内での取り組みなどの事例も紹介した。 ・ごみとされているもののの中に、未利用資源があるかもという視点も紹介。			





実施日	12月14日	主催者	梁川第4区ふれあいサロン	推進員	若生 和江
		対象	地域住民10名		
研修会		SDGs講座			
テーマ		目標3・目標11・目標12			
内容(推進員より)		・「奥州市版SDGs」について。 ・「国際版SDGs」と合わせて、地域のことを見てみよう・「もったいない」を楽しく学ぼう！絵本、かるた。 ・「郷土食から学ぶエコクッキング」私たちにできることを考える。			

実施日	12月15日	主催者	花巻市農協女性部とおのよつば地域支部宮守支店	推進員	若生 和江
		対象	女性部員17名		
研修会		SDGsの取り組みについて			
テーマ		SDGs			
内容(推進員より)		・日常につながるSDGsにつながる行動について。 ・THE SDGsアクションカードゲームX。 ・プラ減にむけて実践講習、新聞紙でゴミ袋作成。 ・旬の大根で漬け物レシピ紹介。			

実施日	1月6日	主催者	前沢地区連合振興会	推進員	高橋 功
		対象	小学生14名 前沢地区センター職員4名 合計18名		
研修会		小正月行事			
テーマ		地球温暖化・再生可能エネルギー			
内容(推進員より)		地球温暖化を防ごう隊員ノート」と、手づくりのビック本で、温暖化のしくみや影響について考えて頂いた。その後、太陽光パネルや風力発電模型で再生可能エネルギーについて説明、太陽の光がない・風が吹かないといった時には電気がつくれないので、再生可能エネルギーだけに頼るのではなく、「身近にできる省エネへの取り組みが必要」なことを知って頂き、ダンボールでつくった冷蔵庫などで具体的な取り組みを紹介した。			



実施日	1月6日	主催者	丹内建設(株)	推進員	高橋 良和
		対象	丹内建設職員 50名		
研修会		事業所における省エネ活動のポイント			
テーマ		地球温暖化			
内容(推進員より)		事前に要望があった①現在の地球環境②省エネへの取り組みについてを講和に盛り込んだ。 I 今日の狙い II ・入り口・利用・出口の3つの面から環境をとらえる ・特に繰り返されるCMは利用面での映像のみなので賢い消費者になって3つの面から考える。 ・私が気付いた環境にやさしい商品(見本提示) ・私たちの行動すべてが環境に影響します。 ・おまけ ①食品で国産と国内産何が違う ②空気を上手に使う。空気を夏は流れを大きく、冬は流れを止める。環境を考える人は自分の生き方も考える人である。			



実施日	1月14日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	杉枝 武雄
		対象	事業所エコスタッフ30名		
研修会		事業所における省エネ活動のポイント			
テーマ		地球温暖化の現状及び対策			
内容(推進員より)		エコスタッフ養成セミナーにおけるエコドライブ座学講習及び事業所における省エネ活動のポイントの講師、架空オフィスの省エネ対策グループ討議結果の講評 をおこなった。			

実施日	1月23日	主催者	花巻市農協女性部とおのよつば地域支部 綾織支部	推進員	若生 和江
		対象			
研修会		SDGs料理講習会			
テーマ		地球温暖化の現状と取り組み			
内容(推進員より)		・旬の食材を使ったエコクッキング。 ・鍋帽子を使い、省エネで調理することの利点を伝えた。 ・SDGsってなあに？ ・「食」につながるSDGsのはなし。 ・食品ロスを減らす工夫。			

実施日	2月1日	主催者	矢巾町立矢巾東小学校	推進員	高橋 良和
		対象			
研修会		令和3年度矢巾町環境学習			
テーマ		地球温暖化の現状と対策			
内容(推進員より)		1. 今日のねらいは、①地球温暖化の理解 ②『環境にやさしいってなに?』 ③環境行動は、言われてやるのではなく、自分から『行動する』ことである。 2. 私が気づいた、環境にやさしいものの製品の現物説明。 3. 私たちの行動すべてが、環境に悪さをする。 4.これから皆さんに身に付けてほしい環境力は、掛け算で決まる。 ①『環境力』=知識×気づき×行動×…。一つでもゼロがあれば、環境力はゼロになる、の説明。 ②生活のあらゆる場面に入り込んでいる、プラスチックを減らすには、特効薬はなく地道に減らすことが必要。『使用量を減らす』『複数回使う』『自然の物に置き換える』『プラスチックを良く知る』『意識する』『環境にやさしいとは何か』等を、改めて、一人一人に考えてもらう。」 5. その製品が、環境にやさしいかどうかを見るために ①インプット ②それを利用する、家庭や学校 ③アウトプット この①～③全体を見て判断する。TVでは、②の製品を使う時のメリットだけを繰り返し伝える。しかし①の材料の段階、③の使用後も含めた、全体で考えないと、その製品が環境にやさしい物かどうかを判断できないと伝える。みんなには、正しく環境を考えられる賢い人になってほしいと伝える。環境行動は、決してガマンするものではないことも伝える。			

実施日	2月5日	主催者	生活クラブ生活協同組合・岩手(盛岡)	推進員	徳谷 喜久子
		対象	会員20名		
研修会		省エネ講座			
テーマ		地球温暖化の現状及び対策			
内容(推進員より)		依頼先から「未来世代のために私が出来ること」省エネ講座タイトル 導入は環境省のDVD「地球温暖化とは」5分24秒を鑑賞 温室効果ガスについて→「国別CO2排出量」「日本の部門別CO2排出量」「家庭からのCO2の排出」を説明後、電気について重点的に話した。生活クラブは「生活クラブエナジー」という電力会社を立ち上げているので、東北電力と生活クラブエナジーの電源構成を比較した。個人でできる削減と、「脱炭素社会」に変えるというミクロとマクロの話をした。			

実施日	2月10日	主催者	矢巾町立徳田小学校	推進員	若生 和江
		対象			
研修会		令和3年度矢巾町環境学習			
テーマ		地球温暖化の現状と対策			
内容(推進員より)		・リモートの操作については役場担当者の方にご協力いただきスムーズにできた。 ・リモートで伝わりやすいよう、資料に説明を書き込んだ。 ・一方的にならないよう、子どもたちからの声を拾う場面では、担当の教諭の方の協力により双方向のやり取りが叶った。表情等から理解度が読み取れないため難しさもあったが、コロナ過でも授業ができる形を模索できたのは良かった。			

実施日	2月12日	主催者	生活クラブ生活協同組合・岩手(水沢)	推進員	徳谷 喜久子
		対象	会員20名		
研修会		省エネ講座			
テーマ		地球温暖化の現状及び対策			
内容(推進員より)		・「地球温暖化とは」を環境省制作のDVDで約5分鑑賞して、仕組と現状を理解してもらった後に、「温暖化ガス」のGWPを加えた話、世界のCO₂排出量～日本の部門別、家庭から、を簡単に説明して、電気の話を中心に話す。 ・生活クラブエナジーの電源構成と東北電力のそのの比較、フードマイレージとフードロスについて生活クラブの消費材に触れながら説明する。 ・移動手段として公共交通機関、自家用車の燃費とエコドライブ、EVについて岩手県が推進する水素燃料について意見交換した。 ・ゴミ問題、薪利用の際のカーボンニュートラルについてなど広範囲での話。 ・IPCCとCOP26と世界の脱炭素に向けた目標などについて話す。 ・まとめとして、「私のできること(個人的な取り組み)」と「社会のシステムを変える」について伝えた。			

実施日	3月5日	主催者	笑いのたねプロジェクト	推進員	若生 和江
		対象	ワラタネスクエア利用者・スタッフ11名		
研修会		南部鉄器でエコおやつを作ろう			
テーマ		エコクッキング			
内容(推進員より)		・自分出る来る楽しさをじっくり、ゆっくり味わう。 ・道具や材料、身近にあるエコなものに気づく。 ・一緒に作る時間を楽しむ。 ・気づきを日常につなげて、「食」から環境のことを考えるきっかけに。			

実施日	3月7日	主催者	みんなで防災友の会	推進員	粒針 文子
		対象	一般10名		
研修会		地球温暖化と三陸の海で起きていること			
テーマ		地球温暖化			
内容(推進員より)		沿岸部被災地や漁業関係者家族との交流事前学習会ということで、温暖化と三陸沿岸の漁業への影響や、沿岸南部で行われている新しいエネルギーへの取り組みなどを紹介した。普段の生活で「これは地球温暖化の影響かもしれない」と考えていること、これからどうなりそうかということを積極的に参加者に話してもらいながら、対話式の講座を行いその後で近くの県漁連会館、ららいわてなどで沿岸部の関連商品や資料を案内した。			

実施日	3月17日	主催者	東京大学海洋研究所 大槌沿岸センター	推進員	櫻井 則彰
		対象	一般・高校生31名		
研修会		森と海をつなぐプロジェクト 大槌高校・はま研究会 海ゴミ研究班の調査発表会			
テーマ		地球温暖化・ゴミ			
内容(推進員より)		大槌町在住の環境アドバイザー、岩手県地球温暖化防止活動推進員の臼澤良一氏が作成した資料をもとに解説、SDGsの基本であり、ドイツポツダム研究所所長ヨハンロックストローム氏が提唱した環境が基盤にあり、その上に社会、経済が成立していること、大槌町の未来を考える上でこの考えが重要であることを中心に解説する。			

実施日	3月20日	主催者	みんなで防災友の会	推進員	粒針 文子
		対象	一般12名		
研修会		地球温暖化と三陸の海で起きていること②			
テーマ		地球温暖化			
内容(推進員より)		日々のニュースがコロナに戦争がメインとなっており、実に暗澹たる状況に私たちは置かれている。そういう時だからこそ、人がおたがいを信じあえる場づくりがネットではなく実際に接する形でのコミュニケーションで必要だと改めて感じた。			

● 森のゼミナール



森林環境学習会

令和3年度いわて森のゼミナール運営業務・森林環境学習会実施状況

令和3年度の森林環境学習会は、令和3年6月3日～令和4年3月2日までの間、県内一円の小学校等27校で開催され、総勢591名の児童が、森林の持つ多様な機能、森林生態系の大切さ等を学びました。
新規実施校等が7校あり、継続実施校等は20校でした。森林環境学習会で指導にあたった講師数は、56名であり、森林インストラクター、森の達人、環境アドバイザーが、この事業に携わりました。

新規実施校	7校
継続実施校	20校
参加児童数	591名
従事講師数	56名

森林環境学習会の実施場所は、教室、校庭、学校林、学校周辺の山林等で、内容としては、樹木観察、植物観察、森林内散策、木登り、植物・木の実等を使った創作活動等、各学校等に派遣された講師の指導の下、多様な活動が展開されました。
森林環境学習会を依頼した学校等から得たアンケート結果では、大変良い20校、良い8校と概ね好評であり、実施校の多くが、今後も森林環境学習会の継続を希望していました。「現地の学習だけでなく、学校でも事前の学習『学校林の歴史』『森の役割など』についても講義をしていただいた」「近くの公園、校庭の木を使って活動ができたことで子供たちの自然に対する思いが深まりました」等の声が学校関係者から寄せられました。

活動内容



指導者研修会

令和3年度いわて森のゼミナール運営業務・指導者研修会実施状況

県民の皆さんを対象に森林・林業の役割、生態系の有用性などの普及啓発を図る指導者養成のため指導者研修会を実施した。
指導者研修会は、地域活動を実践するリーダーを対象にスキルアップを図る1)指導者研修とリーダーを対象とした2)情報交換会の2回の開催である。

県内各地域において森林環境学習の活動を実践するリーダーのスキルアップを図るため、森林環境学習推進手法や安全管理等について、現地研修や室内講義により開催。

1)指導者研修

開催日: 令和3年 7月17日

開催地: 盛岡市都南つどの森

- ・自然の多様性、赤林探検隊活動の模様などを講義
- ・森林の中で参加者に気づきを促す各種活動の紹介



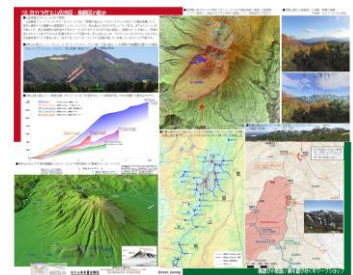
活動内容

2)情報交換会

開催日: 令和3年11月 6日

開催地: 盛岡市遺跡の学び館

- ・各団体活動事例発表
- ・次年度活動に向けての意見交換



令和3年度いわて森のゼミナール運営業務 森林環境学習会開催校

14-2

No.		メニュー	実施校等名称	実施時期	実施場所	実施形態	実施概要	人数	対象者
				実施日					
1	継続	樹木観察等	奥州市立伊手小学校	6月3日	種山高原星座の森	授業	・星座の森周辺で自然観察をし森林が果たす役割を説明 ・木の実を使ってクラフト作りを実施	14名	5学年
2	継続	樹木観察等	盛岡市立羽場小学校	6月12日	都南つどいの森	授業	・木登り、レーティング、パチンコ製作 ・樹木、植物観察	87名	1～6学年
3	継続	樹木観察等	葛巻町立江刈小学校	6月15日	小学校及び周辺	授業	・木のトランプ、パチンコ製作 ・学校林をイメージした箱庭作り	13名	3・4・5学年
4	継続	樹木観察等	葛巻町立小屋瀬小学校	6月18日	葛巻高原牧場	授業	樹木観察したりホオの木の葉で風車づくり・森林資源の役割を理解する活動	27名	1～6学年
5	新規	樹木観察等	花巻市立大迫小学校	6月30日	大迫小および向山森林公園	授業	・木のトランプ ・向山森林公園での樹木観察	20名	4学年
6	継続	樹木観察等	雫石町立雫石小学校	7月6日	雫石町七ツ森墓地公園	樹木観察会	天然記念物の蝶チョウセンアカシジミと食樹デフノトネリコの関係を知る。	2名	1～5学年
7	新規	樹木観察等	一関市立一関小学校	7月17日	衣川ふるさと自然塾	森林観察会	・森林の果たす役割について説明 ・樹木の輪切板で年輪や東西南北を知ることができることを説明 ・3班に分け自然観察を実施	14名	1～6学年
8	継続	樹木観察等	岩手大学附属小学校	7月28日	都南つどいの森	樹木観察会	・樹木観察、森林の大切さを知らせる	20名	3～6学年
9	継続	樹木観察等	盛岡市立飯岡小学校	7月30日	都南つどいの森	樹木観察会	都南つどいの森の樹木観察の後、流しそうめんを中心に夏休みのお楽しみ企画の実施	20名	1～6学年
10	継続	樹木観察等	宮古市立山口小学校	8月30日	山口小学校林	授業	・学校林の歴史と経緯を知り、学校を支える地域の方々の思いを学ぶ。 ・環境学習の一環として「森・川・海」の役割や価値を理解し、自然とともに共存する意義を学ぶ。 ・学校林で自然に触れながら体験的に森を学ぶ。	21名	5学年
11	新規	学校林活用	九戸村立山根小学校	9月29日	山根小学校林他	授業	学校林の樹木観察 森林の働き(CO2減少、O2産生)森で注意すべき動植物など	13名	1～5学年
12	継続	樹木観察等	奥州市立胆沢愛宕小学校	9月29日	教室	授業	森や木のことなどの学習 木の実の種類や特徴などの学習	7名	5学年
13	継続	樹木観察等	奥州市立大田代小学校	10月1日	小学校体育館及び図書室	授業	創作活動(額縁に木の葉や実を張り付けての創作)	15名	全校
14	継続	樹木観察等	遠野市立達曽部小学校	10月1日	図工・理科室	授業	木の実等を使ったお弁当づくりとヤマブキ笛遊び	16名	1・2年
15	継続	学校林活用	久慈市立夏井小学校	10月5日	夏井小学校及び夏小の森	授業	森林の散策、樹木観察、森の動物たちを知る 森から得られる材料を用いたクラフト作り	8名	1～4学年
16	新規	森のクラフト体験等	一関市立猿沢小学校	10月7日	小学校図工室	授業	・箱庭を作りながら自然の豊かさにもふれる	10名	4学年
17	継続	樹木観察等 森のクラフト体験等	宮古市立崎山小学校	10月8日	浄土ヶ浜ビジターセンター及び付近の遊歩道	授業	自然観察(樹木観察、遊歩道散策等) 木工工作(盛の自然物を生かした工作活動)	33名	1学年
18	継続	樹木観察等	盛岡市立大慈寺小学校	10月14日	校庭および図工室	授業	校庭の樹木観察、樹木を使っての工作遊び	26名	3学年
19	継続	樹木観察等	北上市立口内小学校	10月25日	校地周辺の樹木の観察	授業	植物・樹木の観察 いろんな木があることを知る 草木を使った遊びを通して森の役割を感じる・森の役割、生物多様性の学習	8名	1・2学年
20	新規	樹木観察等	奥州市立真城小学校	10月27日	ノームの森	生活科授業	・生活科授業「あきをみつけにいこう」秋の木の実や落ち葉、草の実を見つけ遊ぶ ・葉っぱのペンダント作り、木の実の話、森で遊ぼう	25名	1学年
21	継続	樹木観察等	大船渡市立越喜来小学校	10月27日	学校近くの林	授業	*学校裏山を流れる小川や周りの景色、植物等、川を取り巻く周辺環境の観察。* 川に生息する水生昆虫を調べ、川に生き物がいることを確認する。* 川の水はどこから流れてくるのか、水の音を頼りに、川のはじまり(源流)を探しながら森に入る。* 森に降った雨が集まって川となり、海に流れ、森と川と海がつながっていることを確認し、海を育むためには豊かな森が大切であることを知る。* ふるさとを誇りに思う心を育む。	13名	3学年
22	継続	樹木観察等	盛岡市立東松園小学校	10月28日	小学校校庭と学校隣接の中央公園	生活科授業	様々な木や葉の形や色の違い等を観察し、自然と触れ合うことの楽しさを味わう	17名	1学年
23	継続	樹木観察等	岩泉町立釜津田小学校	11月4日	釜津田小学校大川学校林	授業	地域の産業である林業への関心を高めるため学校林にて樹木を観察、身近な自然の観察を通して、自然とふれあうことの楽しさを味わう。	8名	全校
24	新規	樹木観察等	宮古市立磯鶏小学校	11月5日	学校周辺の林内	授業	学校周辺の山林を歩きながら、様々な葉や実について詳しく観察し、自然とのふれあいを大切にする心、態度を育てる。	85名	1・2学年
25	継続	樹木観察等	洋野町立常島小学校	11月11日	小学校裏山	授業	裏山散策・樹木の伐採など	25名	5～6学年
26	新規	森のクラフト体験等	一関市立興田小学校	11月18日	学校内及び周辺の森林	授業	木の葉や木の実を使った作品づくりを通して、身近にある森林に関心を持ってもらう	24名	1・2学年
27	継続	樹木観察等	大船渡市立綾里小学校	3月2日	大小迫つむぎの家	授業	* 昨年6月つむぎの家の山林に植樹した木(落葉樹)の生長観察と植樹の意義確認。* 里山で剪定した柿、クワ、杉などの片付け作業。* 朽ち木や杉の葉を集め火起こし体験。たき火を囲み、皆が植えた一本の木が森を作り、森に降った雨が川となって海に注ぎ、魚やワカメを育て、その海の恵みを私たちがいただいているという、循環の中に人の暮らしがあり、地球温暖化への貢献を学習。* つむぎの家には柿の木がたくさんあり、干し柿を作り保存食としている(干し柿の試食) * 里山では、自給自足の暮らしができ、持続可能(SDGs)な生活に直結することの学習。	20名	5学年

参加者総合計 591名



特定非営利活動法人 環境パートナーシップいわて

〒020-0124 岩手県盛岡市厨川 5 丁目 8 番 6 号

TEL:019-681-1904 FAX:019-681-1906

環境学習交流センター

岩手県地球温暖化防止活動推進センター

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通 1 丁目 7-1 アイーナ 5F

TEL:019-606-1752 FAX:019-606-1753

E-mail:eco@aiina.jp(環境学習交流センター宛)

iccca@aiina.jp(岩手県地球温暖化防止活動推進センター宛)